

上川南部国有林の 地域別の森林計画書

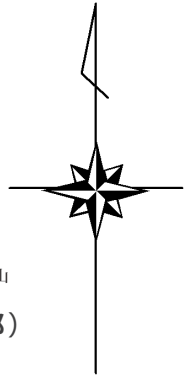
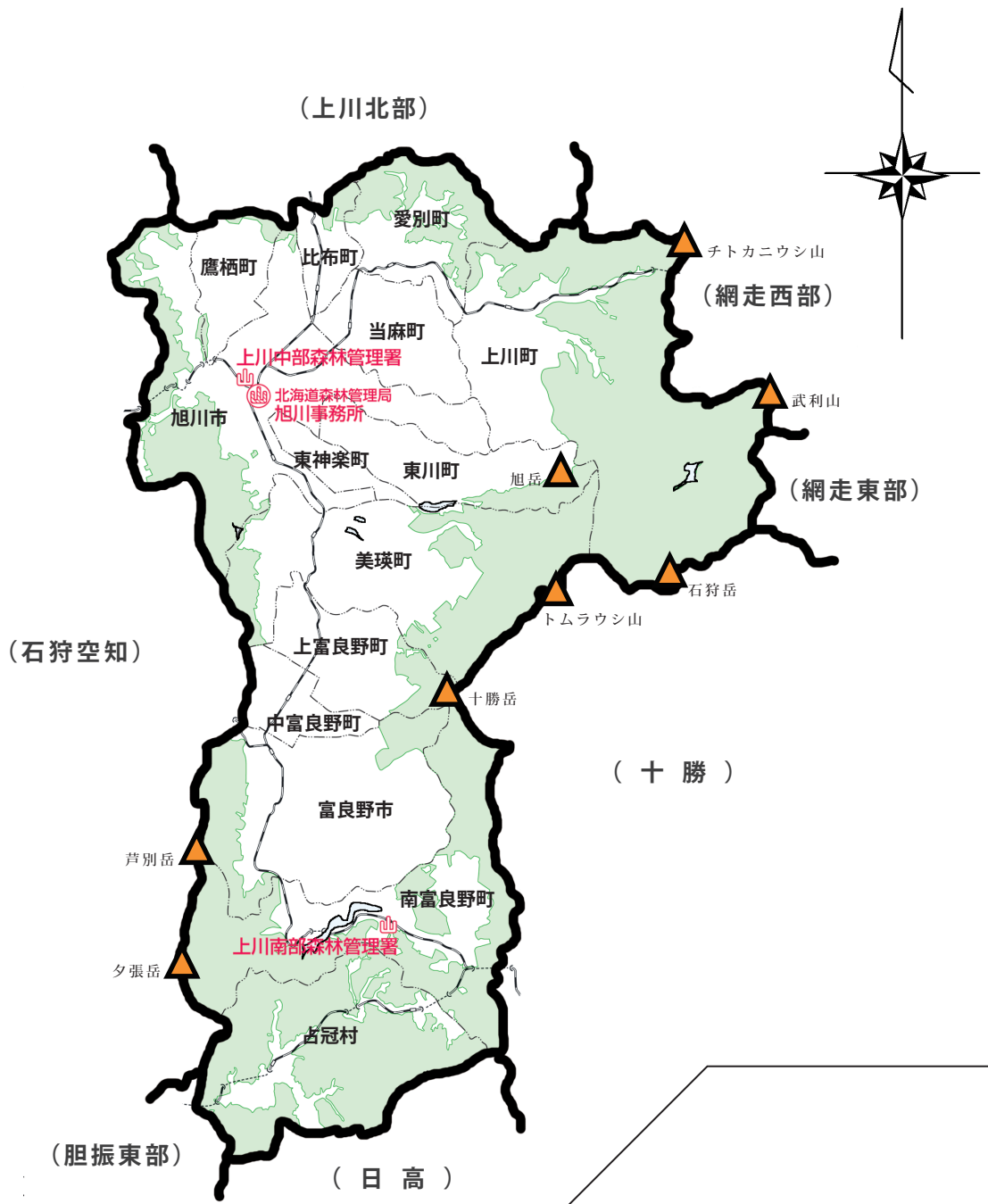
(上川南部森林計画区)

計画期間 { 自 平成26年4月 1日
至 平成36年3月31日 }

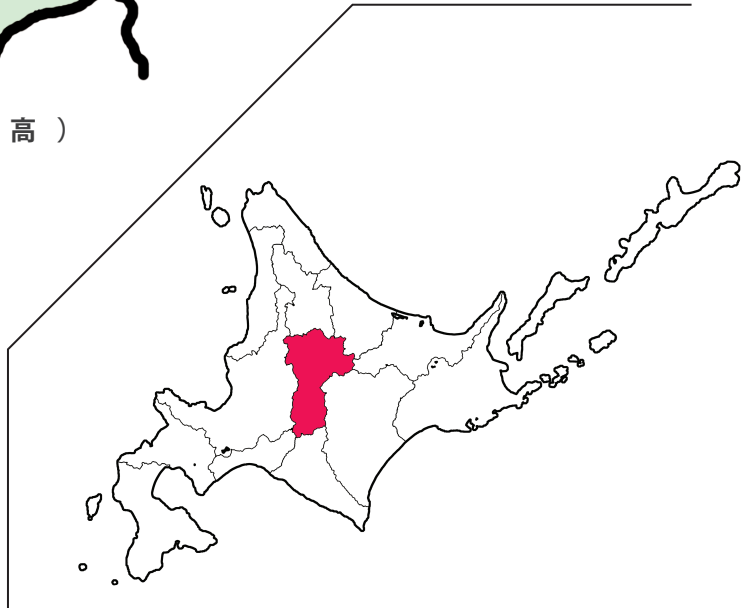
樹立年月日 : 平成25年12月27日

北海道森林管理局

上川南部森林計画区的位置図



凡 例	
国 有 林	
主 要 山 岳	
鉄 道	
森林計画区界	
市 町 村 界	
森林管理署等	



は し が き

この計画は、森林法第7条の2の規定に基づき、全国森林計画に即して、上川南部森林計画区に係る国有林について、公益的機能別施業森林の区域及び施業方法、並びにその整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的事項等を定めるものです。

目 次

I	計 画 の 大 綱	
1	森林計画区の概況 -----	1
	(1) 位 置	
	(2) 自然的背景	
	(3) 社会経済的背景	
	(4) 森林・林業・木材産業の概況	
2	前計画の実行結果の概要及びその評価 -----	2
3	計画樹立に当たっての基本的な考え方 -----	4
II	計 画 事 項	
第 1	計画の対象とする森林の区域 -----	6
第 2	森林の整備及び保全に関する基本的な事項	
1	森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項--	6
	(1) 森林の整備及び保全の目標	
	(2) 森林の整備及び保全の基本方針	
	(3) 計画期間において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態等	
2	その他必要な事項 -----	10
第 3	森林の整備に関する事項	
1	森林の立木竹の伐採に関する事項 -----	11
	(1) 立木の伐採（主伐）の標準的な方法	
	(2) 立木の標準伐期齢	
	(3) その他必要な事項	
2	造林に関する事項 -----	14
	(1) 人工造林に関する事項	
	(2) 天然更新に関する事項	
	(3) その他必要な事項	
3	間伐及び保育に関する事項 -----	16
	(1) 間伐の標準的な方法	
	(2) 保育の標準的な方法	
	(3) その他必要な事項	
4	公益的機能別施業森林等の整備に関する事項 -----	19
	(1) 公益的機能別施業森林の区域及び当該区域における森林施業の方法	
	(2) その他必要な事項	
5	林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項 -----	20
	(1) 林道等の開設及び改良に関する基本的な考え方	
	(2) 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムの基本的な考え方	
	(3) 更新を確保するため林産物の搬出方法を特定する森林の所在及びその搬出方法	
	(4) その他必要な事項	

6	森林施業の合理化に関する事項 -----	22
	(1) 林業に従事する者の養成及び確保に関する方針	
	(2) 作業システムの高度化に資する林業機械の導入の促進に関する方針	
	(3) 林産物の利用促進のための施設の整備に関する方針	
	(4) その他必要な事項	
第4	森林の保全に関する事項	
1	森林の土地の保全に関する事項 -----	22
	(1) 土地の形質の変更に当たって留意すべき事項	
	(2) 樹根及び表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区	
	(3) 森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要のある森林及びその搬出方法	
	(4) その他必要な事項	
2	保安施設に関する事項 -----	24
	(1) 保安林の整備に関する事項	
	(2) 保安施設地区に関する事項	
	(3) 治山事業に関する事項	
	(4) その他必要な事項	
3	森林の保護等に関する事項 -----	24
	(1) 森林病虫害等の被害対策の方針	
	(2) 鳥獣による森林被害対策の方針	
	(3) 林野火災の予防の方針	
	(4) その他必要な事項	
第5	計画量等	
1	伐採立木材積 -----	26
2	間伐面積 -----	26
3	人工造林及び天然更新別の造林面積 -----	26
4	林道の開設及び拡張に関する計画 -----	26
5	保安林整備及び治山事業に関する計画 -----	26
	(1) 保安林として管理すべき森林の種類別面積等	
	(2) 保安施設地区として指定することを相当とする土地の所在及び面積等	
	(3) 実施すべき治山事業の数量	
第6	その他必要な事項	
1	保安林その他法令により施業について制限を受けている森林の施業方法 --	27
2	その他必要な事項 -----	30
Ⅲ	別表	
別表1	公益的機能別施業森林の区域及び施業方法 -----	1
別表2	林道の開設及び拡張に関する計画 -----	3
別表3	治山事業の数量 -----	8
別表4	法令により施業について制限を受けている森林の施業方法 -----	9

(附) 参考資料

1 森林計画区の概況

(1) 市町村別土地面積及び森林面積	1
(2) 地況	1
(3) 土地利用の状況	3
(4) 産業別就業者数	3

2 森林の現況

(1) 齢級別森林資源表	4
(2) 制限林普通林別森林資源表	9
(3) 市町村別森林資源表	10
(4) 制限林の種類別面積	14
(5) 樹種別材積表	17
(6) 荒廃地等の面積	17
(7) 森林の被害	17

3 林業の動向

(1) 森林組合及び生産森林組合の現況	18
(2) 林業事業者等の現況	19
(3) 林業労働力の概況	19
(4) 林業機械化の概況	20

4 前期計画の実行状況

(1) 間伐立木材積その他の伐採立木材積	21
(2) 間伐面積	21
(3) 人工造林・天然更新別面積	21
(4) 林道の開設及び拡張の数量	21
(5) 保安林の整備及び治山事業に関する計画	22

5 林地の異動状況

(1) 森林より森林以外への異動	22
(2) 森林以外より森林への異動	22

6 森林資源の推移

(1) 分期別伐採立木材積等	23
(2) 分期別期首資源表	24

I 計画の大綱

1 森林計画区の概況

(1) 位置

北海道の中央からやや北部の上川総合振興局管内の南部に位置する。

(2) 自然的背景

ア 地勢

本森林計画区は、中央北部に上川盆地、中央南部に富良野盆地があり、東部は中部北見山地から石狩山地、大雪山系を経て十勝岳連峰の山々が連なり、西部は夕張山地の山々がそびえている。

石狩山地、大雪山系を水源とする大小の河川が合流して石狩川を形成し、上川盆地のほぼ中央部を西流し、十勝岳連峰を水源とする美瑛川、空知川が石狩川に合流し、日本海に注ぐ。また、日高山地を源流とする鷓川が南下して太平洋に注いでいる。

イ 地質及び土壌

地質は、十勝岳山麓部、富良野盆地東部の丘陵部を中心に溶結凝灰岩、安山岩、大雪山系の地域では先白亜紀の日高累層群を基盤とし、これに第三紀末から洪積世にかけて噴出した各種溶岩で被覆されている。

夕張山地の地域では、白亜紀層、ジュラ紀以降の変成岩、蛇紋岩等、日高山地では花崗岩、片麻岩で構成されている。

土壌は、褐色森林土が広く分布しているが、一部の段丘等には下層が埴質土で理学性の不良な土壌がある。

ウ 気候

気候は、大雪山系、十勝岳連峰、夕張山地等に囲まれ海岸と遮断されていることから昼夜、夏冬の気温の差が著しい内陸性気候を呈している。

平均気温は旭川市で7.1℃、上川町で5.5℃で、年平均降水量は858mm～1,135mm、最深積雪は69～269cmであるが山岳地帯で360cm前後に達するところがある。

(3) 社会経済的背景

ア 市町村の構成

2市11町1村から構成され、国有林は2市9町1村に所在している。

イ 人口

約447千人（平成22年国勢調査）で、全道の約8%となっている。

ウ 産業

旭川市を除く地域の基幹産業は、農業であり、稲作を中心として、小麦、豆類、馬鈴薯、てん菜、野菜等の畑作、酪農、養豚、養鶏などが行われている。

工業は、旭川市を中心として食料品、木材・木製品、家具、パルプ、紙、紙加工品製造業等の比率が高い。

本森林計画区には大雪山国立公園、富良野芦別道立自然公園が設定されており、

山岳、温泉等の観光資源に恵まれていることから、これらを中心として山岳観光レクリエーション施設、スキー場等も多く所在し、道内外から多くの観光客が訪れている。

(4) 森林・林業・木材産業の概況

ア 森林・林業

森林面積は、総土地面積の74%の420千haで、全道森林面積の8%を占め、このうち林野庁所管の国有林が272千haとなっている。

森林蓄積は、全道の8%を占める60,391千m³であり、このうち国有林は32,805千m³となっている。国有林のha当たり蓄積は121m³で、全道平均134m³を下回っている。

人工林率は27%で、全道平均27%とほぼ同じであり、国有林は21%となっている。

イ 木材産業

平成24年度の製材の原木消費量は、全道の11%を占める194千m³で、このうち針葉樹が73%、広葉樹が27%となっている。また、製材出荷量は、全道の11%を占める95千m³で、用途別では梱包材が29%となっている。

チップの原料消費量は、全道の10%を占める183千m³で、このうち針葉樹が69%、広葉樹が31%となっている。

ウ 林業事業体等の現況

平成24年末現在の林業事業体は、森林組合を除き、造林業では25業者、素材生産業では27業者となっている。森林組合は、11組合が組織されており、組合員数は4,212人となっている。

2 前計画の実行結果の概要及びその評価

伐採立木材積については、森林作業道等の各種支障木による臨時伐採量の増加に伴い主伐が増えたが、間伐については、おおむね計画どおり実行された。

人工造林・天然更新別面積については、地球温暖化防止対策に資する森林整備の推進及び風倒被害地の復旧を重点的に図った結果、更新量が増加したものである。

間伐面積については、対象箇所を精査し、現況を踏まえ実行した結果、実行面積の減となった。

林道の開設又は拡張の数量については、利用区域内の事業実行の時期等を踏まえ、優先度の高いものから実行した結果である。

保安林の整備については、所管換に伴う国有林保安林面積の減を計上した結果、解除面積が増となった。

治山事業は、溪間工、山腹工及び植栽工についてはおおむね計画どおりに推進されたが、本数調整伐については、各箇所の緊急性を勘案のうえ推進したところ、計画量に対して増となった。

(1) 伐採立木材積

単位 材積：千 m³

区 分	伐採立木材積						
	計 画			実 行			実行歩合
	主伐	間伐	総数	主伐	間伐	総数	総 数
総 数	0	232	232	61	280	341	147%
針葉樹	0	189	189	37	190	226	120%
広葉樹	0	43	43	25	90	115	267%

注 1) 総数は四捨五入のため必ずしも一致しない。

注 2) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分（H21～25年度）である。

(2) 人工造林・天然更新別面積

単位 面積：ha

総 数			人工造林			天然更新		
計画	実行	実行歩合	計画	実行	実行歩合	計画	実行	実行歩合
7	1,537	21,957%	0	63	—	7	1,475	21,071%

注) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分（H21～25年度）である。

(3) 間伐面積

単位 面積：ha

計 画	実 行	実行歩合
18,785	11,045	59%

注) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分（H21～25年度）である。

(4) 林道の開設又は拡張の数量

単位 距離：km

区 分	開 設 延 長			拡 張 箇 所 数		
	計画	実行	実行歩合	計画	実行	実行歩合
総 数	91	43	47%	53 箇所	42 箇所	79%

注) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分（H21～25年度）である。

(5) 保安林の整備

単位 面積 : ha

種 類	指 定			解 除		
	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合
総 数	-	-	-	-	123	-
水 源 かん 養	-	-	-	-	114	-
土 砂 流 出 防 備	805	0	0	-	-	-
保 健	-	-	-	-	9	-

注) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分 (H21~25年度) である。

(6) 治山事業

主な工種	計 画	実 行	実行歩合
溪 間 工 (箇所)	38	33	87%
山 腹 工 (箇所)	6	7	117%
植 栽 工 (ha)	59	65	110%
本数調整伐 (ha)	238	1,311	551%

注) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分 (H21~25年度) である。

3 計画樹立に当たっての基本的な考え方

森林の有する公益的機能の発揮に対する国民の期待は引き続き強いものであるとともに、国土の保全や水源の涵養、地球温暖化の防止のみならず、生物多様性の保全などますます多様で重層的なものとなってきている。

北海道の森林は、これらの役割を果たすことはもとより、北海道の美しく雄大な景観の形成、豊かな野生生物の生育・生息環境の確保の上で大きな役割を果たしている。

とりわけ、北海道の土地総面積の約39%、森林面積の約55%を占める国有林の果たすべき役割が大きなものとなっている。

特に生物多様性保全については、森林の整備にあたり、河畔周辺の保全等による森林生態系のネットワークの形成や、樹種や林齢等の異なるさまざまなタイプの森林が分散的に配置されるよう努めるなど、森林の状態や変化に応じ、多種多様な生物相を安定的、長期的に支える視点に配慮することとする。

このような森林の有する公益的機能をより一層発揮させるとともに、さらには、民有林と国有林が連携し、周辺民有林も含めた面的な機能発揮や、森林・林業の再生に向けた国有林野の資源、フィールド、人材等の積極的な活用を図っていくこととする。

特に、本森林計画区では、以下のような森林づくり等について取り組んでいくものとする。

- ① 地域の水源として、また、基幹産業である農業の振興に資する観点で重要な役割を担っていることから、水源涵養機能の持続的発揮に向けた森林整備を推進する。
- ② 国の天然記念物に指定されているクマゲラ、「絶滅のおそれのある野生動植物の

種の保存に関する法律」で国内希少野生動植物種に指定されているクマタカ・オオタカ及びその両方に指定されているシマフクロウ等の生息環境に配慮した森林施業を推進し、生息環境の保全を図る。

- ③ 環境省レッドデータブックにおける「絶滅危惧ⅠB類」であるイトウの生息する保護河川の自然環境に配慮した適切な間伐等の森林施業を推進することにより、当該保護河川流域の森林の整備及びイトウの生息環境の保全を図る。
- ④ 森林生態系保護地域等保護林及び緑の回廊については、生物多様性の保全を図るとともに、優れた森林生態系を一体的かつ効率的に保全していくため、的確な維持・保存に努める。
- ⑤ 地球温暖化防止対策を推進するとともに、森林の健全性を確保する観点から、人工林における間伐並びに増加する高齢級の人工林における複層林施業等を積極的に推進する。
- ⑥ 計画を効率的に実施し、地域の森林の一体的かつ総合的な整備及び保全を推進するため、民有林・国有林間で密接な連絡調整を図るとともに森林整備協定の締結、森林共同施業団地の設定及び公益的機能増進協定等の取組を推進する。

Ⅱ 計 画 事 項

第 1 計画の対象とする森林の区域

市町村別面積

単位 面積：ha

区 分		面 積	備 考
総 数		271,725.25	官行造林192.81haを含む。
市 町 村 別 内 訳	旭 川 市	23,316.43	
	鷹 栖 町	1,452.36	官行造林97.35haを含む。
	当 麻 町	41.19	官行造林41.19haを含む。
	比 布 町	1,591.83	
	愛 別 町	13,936.98	
	上 川 町	81,598.23	
	東 川 町	4,242.93	
	美 瑛 町	32,226.75	
	富 良 野 市	14,306.74	
	上富良野町	4,177.79	
	南富良野町	47,224.79	官行造林54.27haを含む。
	占 冠 村	47,609.23	

注1) 計画の対象とする森林の区域は、森林計画図において表示する区域内の林野庁所管の国有林及び公有林野等官行造林地とする。

2) 森林計画図は、北海道森林管理局計画課、上川中部森林管理署及び上川南部森林管理署に備え置く。

第 2 森林の整備及び保全に関する基本的な事項

1 森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項

(1) 森林の整備及び保全の目標

森林の有する各機能を高度に発揮させる上で望ましい森林の姿は、次のとおりである。

ア 水源涵養機能

下層植生とともに樹木の根が発達することにより、水を蓄える隙間に富んだ浸透・保水能力の高い森林土壌を有する森林であって、必要に応じて浸透を促進する施設等が整備されている森林。

イ 山地災害防止機能／土壤保全機能

下層植生が生育するための空間が確保され、適度な光が射し込み、下層植生とともに樹木の根が深く広く発達し土壤を保持する能力に優れた森林であって、必要に応じて山地災害を防ぐ施設が整備されている森林。

ウ 快適環境形成機能

樹高が高く枝葉が多く茂っているなど遮蔽能力や汚染物質の吸着能力が高く、諸被害に対する抵抗性が高い森林。

エ 保健・レクリエーション機能

身近な自然や自然とのふれあいの場として適切に管理され、多様な樹種等からなり、住民等に憩いと学びの場を提供している森林であって、必要に応じて保健・教育活動に適した施設が整備されている森林。

オ 文化機能

史跡・名勝等と一体となって潤いのある自然景観や歴史的風致を構成している森林であって、必要に応じて文化活動に適した施設が整備されている森林。

カ 生物多様性保全機能

原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林。

キ 木材等生産機能

林木の生育に適した土壤を有し、木材として利用する上で良好な樹木により構成され成長量が高い森林であって、林道等の基盤施設が適切に整備されている森林。

(2) 森林の整備及び保全の基本方針

森林の整備及び保全に当たっては、森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、生物多様性の保全及び地球温暖化の防止に果たす役割並びに近年の地球温暖化に伴い懸念される集中豪雨の増加等の自然環境の変化も考慮しつつ、重視すべき機能に応じた適正な森林施業の実施や森林の保全の確保により健全な森林資源の維持増進を推進する。また、これらを踏まえ森林の状況を的確に把握するための森林資源のモニタリングの適切な実施や森林GISの効果的な活用を図ることとする。

具体的には、森林の整備及び保全に当たっては、森林の有する各機能の充実と機能間の調整を図り、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、森林の構成、森林の有する機能、林道の整備状況、社会的要請等を総合的に勘案のうえ、育成単層林における保育・間伐の積極的な推進、針広混交林化、広葉樹林化を含め、人為と天然力を適切に組み合わせた多様性に富む育成複層林の計画的な整備、天然生林の的確な管理・保全等に加え、山地災害等の防止対策や病虫害及び野生鳥獣等による森林被害の防止対策の推進等により、重視すべき機能に応じた多様な森林資源の整備及び保全を図ることとする。

なお、森林の管理経営に欠くことのできない施設である林道等の整備に当たっては、周囲の環境との調和を図ることに加え、コストの縮減に努め、森林資源の整備の目標及び公道、民有林林道等の配置状況等を考慮し、農山村地域の振興にも資する整備に努めるとともに、既設の林道等については、利用状況、今後の森林施業の展開等を考慮しながら、改良及び適切な維持管理を図ることとする。

さらに、森林の水源涵養機能、山地災害防止機能等の諸機能の高度発揮を図るため、治山事業の計画的な実施に努めるとともに、保安林の適正な整備や保安林制度の適切な運用を図ることとする。その中で、流域保全の観点から、関係機関が連携した取組等を通じて、山地災害の減災に向けた事業の実施を図る。その際、環境との調和を図ることに加え、コストの縮減に努める。

なお、森林の整備及び保全の推進に当たっては、多種多様な生物の生育・生息地として生物多様性の保全や国民のニーズ等に十分配慮するとともに、森林は、二酸化炭素の吸収源・貯蔵庫として重要な役割を果たしていることから、間伐等の森林整備の着実な実施や保安林等の適切な管理・保全等により、吸収源・貯蔵庫としての機能を十分に発揮できるよう努めるものとする。

森林の有する各機能を踏まえ、それぞれの機能の維持増進を図るための森林の整備及び保全の基本方針は次のとおりとする。

ア 水源涵養機能

ダム集水区域や主要な河川の上流に位置する水源地周辺の森林、地域の用水源として重要なため池、湧水地、溪流等の周辺に存する森林は、水源涵養機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。

具体的には、良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とするとともに、伐採に伴って発生する裸地については縮小並びに分散を図ることとする。また、立地条件や国民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進することとする。

ダム等の利水施設上流部等において、水源涵養の機能が十全に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進することを基本とする。

イ 山地災害防止機能／土壤保全機能

山地災害の発生により、人命・人家等施設への被害のおそれがある森林であって、土砂の流出、土砂の崩壊の防備、その他山地災害の防備のための森林は、山地災害防止機能／土壤保全機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。

具体的には、災害に強い国土を形成する観点から、地形、地質等の条件を考慮した上で、林床の裸地化の縮小並びに回避を図る施業を推進することとする。また、立地条件や国民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進することとする。

集落等に近接する山地災害の発生の危険性が高い地域等において、土砂の流出防備等の機能が十全に発揮されるよう保安林の指定やその適切な管理を推進するとともに、溪岸の侵食防止や山脚の固定等を図る必要がある場合には、谷止や土留等の施設の設置を推進することを基本とする。

ウ 快適環境形成機能

国民の日常生活に密接な関わりを持つ里山等であって、騒音や粉塵等の影響を緩和する森林、森林の所在する位置、気象条件等からみて風害、霧害等の気象災害を防止する効果が高い森林は、快適環境形成機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。

具体的には、地域の快適な生活環境を保全する観点から、風や騒音等の防備や大気の浄化のために有効な森林の構成の維持を基本とし、樹種の多様性を増進する施業や適切な保育・間伐等を推進することとする。

快適な環境の保全のための保安林の指定やその適切な管理、防風、防潮等に重要な役割を果たしている海岸林等の保全を推進することとする。

エ 保健・レクリエーション機能

観光的に魅力ある高原、渓谷等の自然景観や植物群落を有する森林、キャンプ場や森林公園等の施設を伴う森林など、国民の保健・教育的利用等に適した森林は、保健・レクリエーション機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。

具体的には、国民に憩いと学びの場を提供する観点から、立地条件や国民のニーズ等に応じ広葉樹の導入を図るなどの多様な森林整備を推進することとする。

また、保健等のための保安林の指定やその適切な管理を推進することとする。

オ 文化機能

史跡、名勝等の所在する森林や、これらと一体となり優れた自然景観等を形成する森林は、潤いある自然景観や歴史的風致を構成する観点から、文化機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。

具体的には、美的景観の維持・形成に配慮した森林整備を推進することとする。

また、風致の保存等のための保安林の指定やその適切な管理を推進することとする。

カ 生物多様性保全機能

全ての森林は多様な生物の生育・生息の場として生物多様性の保全に寄与している。このことを踏まえ、森林生態系の不確実性を踏まえた順応的管理の考え方に基づき、時間軸を通して適度な攪乱により常に変化しながらも、一定の広がりにおいてその土地固有の自然条件・立地条件に適した様々な生育段階や樹種から構成される森林がバランス良く配置されていることを目指すものとする。

とりわけ、原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林などの属地的に機能の発揮が求められる森林については、生物多様性保全機能の維持増進を図る森林として保全することとする。また、野生生物のための回廊の確保にも配慮した適切な保全を推進することとする。

キ 木材等生産機能

林木の生育に適した森林で、効率的な森林施業が可能な森林は、木材等生産機能の維持増進を図る森林として整備を推進することとする。

具体的には、木材等の林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給する観点から、森林の健全性を確保し、木材需要に応じた樹種、径級の林木を生育させるための適切な造林、保育及び間伐等を推進することを基本とする。この場合、施業の集団化や機械化を通じた効率的な整備を推進することを基本とする。

(3) 計画期間において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態等

単位 面積：ha

区 分		現 況	計 画 期 末
面積	育成単層林	54,226	53,622
	育成複層林	41,395	42,001
	天然生林	145,981	145,979
森林蓄積 (m ³ /ha)		148	155

注) 育成単層林：森林を構成する林木を皆伐により伐採し、単一の樹冠層を構成する森林として人為により成立させ維持される森林。

育成複層林：森林を構成する林木を択伐等により伐採し、複数の樹冠層を構成する森林として人為により成立させ維持される森林。

天然生林：主として天然力を活用することにより成立させ維持される森林。

2 その他必要な事項

ア 水源涵養機能の持続的発揮に向けた森林整備

河川の上流域に位置する国有林は、地域の水源として、また、基幹産業である農業の振興等に資する観点で、特に水源涵養機能の発揮への期待が高い。

このため、将来の森林の姿を見据えた面的な広がりでの森林を取り扱うことに留意して、①将来とも育成単層林として維持していく林分については、資源の循環利用も考慮した帯状伐採等の施業、②将来、育成複層林に誘導していく林分については、複層林、針広混交林等の誘導に向けた下層の光環境の確保、下層植生等の導入・育成に配慮した施業等を行っていくものとし、流域全体で水源涵養機能が持続的に発揮されることを目指すものとする。

特に、それぞれの施業目的に応じた間伐を重点的に行い、地球温暖化防止にも貢献していくとともに、路網を基幹として施業の集約化等を推進し、森林資源の有効利用を進めていくものとする。また、地域との連携・協働による水源林整備も積極的に進める。

なお、取水施設の上流等の特定水源に近接する箇所については、特に留意し、水源に影響を及ぼすおそれがある場合は施業を見合わせるとともに、溪流沿いについては、溪流への土砂の流出・崩壊を抑えるため、おおむね50m以上の保護樹帯を設置する。

イ クマゲラ、シマフクロウ及びクマタカ・オオタカ生息森林の取扱い

国の天然記念物に指定されているクマゲラ、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」で国内希少野生動植物種に指定されているクマタカ・オオタカ及びその両方に指定されているシマフクロウ等の生息環境の保全を図るため、これらの生息状況に応じた森林施業を推進する。

ウ イトウの生息する保護河川流域の森林の取扱い

環境省レッドデータブックにおける「絶滅危惧ⅠB類」であるイトウの生息する保護河川流域について、河川への土砂流入による濁水発生防止等、イトウの生息環境に配慮しつつ適切な間伐等の森林施業を推進する。

エ 保護林等の取扱い

森林生態系保護地域等保護林及び緑の回廊については、生物多様性の保全を図るとともに、優れた森林生態系を一体的かつ効率的に保全していくため、的確な維持・保存に努める。

第3 森林の整備に関する事項

1 森林の立木竹の伐採に関する事項

森林施業を実施するに当たっては、第2の1「森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」によるほか、次に掲げる基準によるものとする。

なお、保安林及び保安施設地区内の森林並びに法令により立木の伐採につき制限のある森林（森林法施行規則（昭和26年農林省令第54号）第10条に規定する森林をいう。）については、保全対象又は受益対象を同じくする森林ごとに制限の目的の達成に必要な施業を行うこととする。また、森林の生物多様性の保全の観点から、施業の実施に当たっては、野生生物の営巣、餌場、隠れ場として重要な空洞木や枯損木、目的樹種以外の樹種であっても目的樹種の成長を妨げないものについては、保残に努めることとする。

(1) 立木の伐採（主伐）の標準的な方法

立木の伐採のうち主伐については、更新を伴う伐採により行うものとする。

主伐に当たっては、森林の有する公益的機能の発揮と森林生産力の維持増進に配慮して行うこととし、伐採跡地が連続することがないように、伐採跡地間には、少なくとも周辺森林の成木の樹高程度の幅を確保することとする。

また、伐採の対象とする立木については、標準伐期齢以上を目安として選定することとする。

伐採後の適確な更新を確保するため、あらかじめ適切な更新の方法を定め、その方法を勘案して伐採を行うこととする。特に、伐採後の更新を天然更新による場合には、天然稚樹の生育状況、母樹の保存、種子の結実等に配慮することとする。

なお、自然条件が劣悪なため、更新を確保するため伐採の方法を特定する必要がある森林における伐採の方法については、択伐等適確な更新に配慮したものとする。

さらに、林地の保全、雪崩及び落石等の防止、寒風害等の各種被害の防止、風致の維持並びに溪流周辺及び尾根筋等の森林における生物多様性の保全等のため必要がある場合には、所要の保護樹帯を設置することとする。

ア 皆伐

皆伐は、主伐のうち択伐以外のものとし、皆伐に当たっては、気候、地形、土壌等の自然的条件及び公益的機能の確保の必要性を踏まえ、適切な伐採区域の形状、一か所当たりの伐採面積の規模及び伐採区域のモザイク的配置に配慮し、適確な更新を図ることとする。

イ 択伐

択伐については、主伐のうち、伐採区域の森林を構成する立木の一部を伐採する方法であって、単木・帯状又は樹群を単位として、伐採区域全体ではおおむね均等な割合で行うものとする。

択伐に当たっては、森林の有する多面的機能の維持増進が図られる適正な林分構造となるよう、一定の立木材積を維持するものとし、適切な伐採率によることとする。

(2) 立木の標準伐期齢

主要な樹種の標準伐期齢は、流域の標準的な立地条件にある森林における平均成長量が最大となる年齢を基準とし、森林の有する公益的機能、既往の平均伐採齢及び森林の構成を勘案して、次のとおり定める。

なお、標準伐期齢は、流域を通じた立木の伐採（主伐）の時期に関する指標として定めるものであり、保安林等の伐採規制等に用いられるものである。

人天別	樹種	標準伐期齢
人	エゾマツ、アカエゾマツ	60
	トドマツ	50
エ	カラマツ、グイマツ	30
	その他針葉樹	40
林	カンバ、ドロノキ、ハンノキ(天然林を含む)	30
	その他広葉樹	40
天然林	主として天然下種によって生立する針葉樹	60
	” ” 広葉樹	80
	主として萌芽によって成立する広葉樹	25

(3) その他必要な事項

ア 水源涵養機能等の高度発揮と資源の循環利用を進める観点から、育成複層林へ導くための施業を積極的に推進することとし、人工林における針葉樹と広葉樹が混交した保護樹帯の整備やモザイク状の森林への誘導のために行う抜き伐り及び小面積区域伐採、高齢級の常時複層林へ誘導するための上層木の抜き伐りを実施する。

イ 伐採箇所の選定に当たっては、当該森林の林分状況、自然保護に対する要請、地域の産業及び地域住民の生活への影響等に配慮する。

ウ 伐採、素材の集積場等に当たっては、枝条、素材等が流出し、下流の人家・公共施設、農地等に被害を及ぼすことのないよう引き続き、木材の流出防止等必要な措置を講ずるとともに、土砂の流出が生じないように十分配慮する。

エ クマゲラ、シマフクロウ及びクマタカ・オオタカ等生息森林の取扱い

(ア) クマゲラ

営巣木が確認された場合は、営巣木を中心に、おおむね半径50m以内を「営巣木保護区域」、おおむね半径500m以内を「緩衝区域」として設定する。

営巣木保護区域においては、営巣木の伐採は行わない、営巣木周辺では弱度の択伐、間伐以外の伐採は行わないとともに、産卵・抱卵・育雛期間（4～6月頃）は立ち入りを控え、騒音の発生を防止する。

緩衝区域においては、伐採は択伐及び間伐を原則とし、機能区分に基づき皆伐が必要な場合は面積5ha以下として、更新後の平均樹高が10mに達するまでは隣接した伐採区域は設定しない。

（具体的な取扱いは、「クマゲラ生息森林の取扱い方針の制定について」（平成18年6月29日付け18北計第27号）による。）

(イ) シマフクロウ

繁殖活動が旺盛なつがいが確実に営巣している区域及びその周辺区域を保護林として設定する。また、保護林の区域のうち、営巣木と繁殖期の主要な採餌場所を含む周辺一帯の区域を営巣木保護区域に設定する。

保護林においては、営巣木及び大径樹洞木（営巣候補木）の保残に努めるとともに、繁殖期間（1～6月）内は、原則として施業を実施しない。

また、繁殖期間以外の期間に行う施業においては、人工林について、シマフクロウの生息環境の保全に資するため、間伐を適切に実施し林分の健全化に努めるとともに、必要に応じ移動空間確保のための密度調整を行う。天然林について、営巣木保護区域内において、風害等による被害木の伐採等の森林の維持管理のために行う伐採を除き、原則伐採は行わない。

なお、施業の実施に当たっては、シマフクロウの餌となる魚類、両生類等の生息環境に影響を及ぼさないよう努める。

(具体的な取扱いは、「シマフクロウ生息地保護林等の森林施業について」(平成18年2月13日付け17北計第106号)による。)

(ウ) クマタカ・オオタカ

営巣木が確認された場合は、クマタカについては営巣木から半径500m程度、オオタカについては半径250m程度の営巣中心域を設定する。また、クマタカ・オオタカともに、営巣木から半径2km程度の高利用域を設定する。

営巣中心域のうち、営巣木から半径50m程度は、原則として伐採は行わない。

営巣中心域では、営巣の確認のため以外は入林せず、間伐等の実施は非営巣期(クマタカ：9～1月、オオタカ：8～2月)に行い、皆伐が必要な場合は1ha以下として、更新後の平均樹高が10mに達するまでは隣接した伐採区域は設定しない。

採餌場の確保に配慮するため、高利用域内の人工林において皆伐を行う場合には、面積を5ha以下にするとともに、分散配置に努める。

(具体的な取扱いは、「クマタカ・オオタカ生息森林の取扱い方針の制定について」(平成19年3月28日付け18北計第147号)による。)

(エ) イトウ

イトウの保護の観点からイトウの生態に配慮した森林施業等を行うこととし、指定河川の区間に沿った国有林内に、保護区域と緩衝区域を設定する。

このうち、保護区域内の林分においては、イトウの産卵・孵化期間の伐採等は行わないこととし、また、これ以外の期間においても、原則として伐採等は行わないものとする。

また、緩衝区域においては、産卵期間(おおむね4月～5月)における伐採等は行わないものとし、この期間以外の期間に伐採等を行う場合、河川への土砂流入による濁水発生防止の措置に努めるものとする。

(具体的な取扱いは、「イトウ棲息河川上流部における森林施業等の留意事項について」(平成15年8月13日付け15北森保第35号)による。)

また、このほかの希少野生生物(「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に規定する指定種や環境省レッドデータブックに掲載する種など)についても、その生育・生息の把握に努め、確認された場合や情報がある場合には、学識経験者から助言を得るなど、その保護に配慮した施業に努めるものとする。

2 造林に関する事項

造林については、裸地状態を早期に解消して公益的機能の維持を図るため、更新すべき期間内に造林を行うものとし、その方法については、気候、地形、土壌等の自然的条件に応じて、人工造林又は天然更新によるものとする。特に、伐採後に適確な更新が図られていない伐採跡地については、それぞれの森林の状況に応じた方法により早急な更新を図ることとする。なお、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林における造林の方法は、人工造林によることとする。

(1) 人工造林に関する事項

人工造林については、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林や多面的機能の発揮の必要性から植栽を行うことが適当である森林において行う。

ア 人工造林の対象樹種

適地適木を基本として、気象、地形、土壌等の自然条件、既往の成林状況及び地域における造林樹種の需給動向等を勘案し選定するものとする。

また、育成複層林へ導くための施業を導入する林分については、自然的条件等に加え、上木の生育状況も勘案して樹種を選定する。

イ 人工造林の標準的な方法

(ア) 人工造林の植栽本数

主要な樹種の植栽本数は、既往の施業体系及び植栽本数を勘案して次表を基準とするが、造林対象地の天然稚幼樹の発生状況及び有用天然木の配置状況等を勘案して決定する。

樹 種	基準本数(本/ha)
トドマツ	3, 000
アカエゾマツ、エゾマツ	3, 000
カラマツ、グイマツ	2, 500
広葉樹	4, 000
クロマツ(海岸林)	10, 000
その他針葉樹	3, 000

注) 複層林施業における植栽本数は、上層木の配置状況により、有用天然木を含め概ね1,500~2,000本/haを目安とする。

(イ) その他人工造林の標準的な方法

人工造林は、気象その他の立地条件及び既往の造林地の成績等を勘案するものとする。また、天然力の活用にも配慮しつつ、現地の実態に即して、早期かつ確実な成林が期待できるよう行う。

地拵の方法は、植栽樹種、植栽方法、下層植生、保残した有用天然木の配置状況に応じ、現地に適合した方法を採用するものとする。

植栽時期は、春又は秋とするが、極力乾燥期は避けるなど現地の状況を考慮して行う。また、健全な苗木の使用、植付方法により、活着率の向上と十分な成長が図られるよう行う。

なお、人工下種は、自然的条件等天然更新が期待できない箇所、人工下種により広葉樹資源の造成が可能な場合に行う。

ウ 伐採跡地の人工造林をすべき期間

伐採跡地については、林地の荒廃を防止し、裸地状態を早急に解消するため、人工造林によるものについては、原則として2年以内に更新を図る。

(2) 天然更新に関する事項

天然更新については、気候、地形、土壌等の自然的条件、林業技術体系等からみて、主として天然力の活用により適確な更新が図られる森林において行う。

ア 天然更新の対象樹種

適地適木を基本とし、自然的条件、森林を構成する樹種及び下層植生の状況等からみて、植込み、地表処理等の更新補助作業を行うことにより確実な更新が期待できる樹種とする。

なお、対象地内の有用天然木は積極的に育成する。

イ 天然更新の標準的な方法

天然更新の方法の選択に当たっては、後継樹の本数及び配置状況等現地の実態に即して行うが、確実な更新が図られるようこれらを適宜組み合わせることも考慮する。

a 刈出し

ササなどの下層植生により天然稚幼樹の生育が阻害されている箇所について、更新を確保するため刈払い等を実施する。

b 地表処理

ササや粗腐植の堆積等により天然下種更新が阻害されている箇所について、大型機械によるかき起こし等を実施する。

なお、地表処理によるものについては、処理を実施した年の翌年から5年以内に更新状況の確認を行い、更新が完了していないと判断される場合には、再度地表処理を行う等により確実に更新を図る。

c 植込み及びまき付け等

天然稚幼樹の生育状況や天然下種更新の可能性を考慮し、必要な場合は、植え込み、まき付けを行う。

なお、広葉樹の更新が期待できる箇所は、ミズナラ等のまき付けを行う。

また、ぼう芽力の強い樹種によるぼう芽更新なども考慮する。

(3) その他必要な事項

防災的見地からの施業

林地崩壊のおそれがある地域や急傾斜地等で地拵を行う場合は、刈払いの方向や枝条等の置き場に十分留意するものとする。

3 間伐及び保育に関する事項

(1) 間伐の標準的な方法

間伐については、林冠がうっ閉（隣り合わせた樹木の葉が互いに接して葉の層が林地を覆ったようになること）し、立木間の競争が生じ始めた森林において、主に目的樹種の一部を伐採して行う伐採の方法により、伐採後、一定の期間内に林冠がうっ閉するよう、行うものとする。

実施に当たっては、森林資源の質的向上を図るとともに、適度な下層植生を有する適正な林分構造が維持されるよう、適切な伐採率により繰り返し行うこととする。特に、高齢級の森林における間伐に当たっては、立木の成長力に留意することとする。

なお、森林の状況に応じて、高性能林業機械を活用するなど効率的な施業の実施を図るものとする。

主要な樹種の間伐の時期、間伐方法、間伐率の目安は次のとおりとする。

樹種	間伐の時期（林齢）			間伐方法	間伐率
	初回	2回	3回		
トドマツ	7 齢級 (31~35年)	9 齢級 (41~45年)	11 齢級 (51~55年)	初回は原則として、2回目以降は、3回目以降は、単木・列状（併用含む）を選択。	35%を上限とする。
アカエゾマツ、エゾマツ	8 齢級 (36~40年)	11 齢級 (51~55年)	14 齢級 (66~70年)		
カラマツ、グイマツ	4 齢級 (16~20年)	6 齢級 (26~30年)	8 齢級 (36~40年)		
その他針葉樹	6 齢級 (26~30年)	8 齢級 (36~40年)	10 齢級 (46~50年)		
広葉樹	6 齢級 (26~30年)	9 齢級 (41~45年)	—		

(2) 保育の標準的な方法

ア 保育の種類

下刈、つる切、除伐等とし、目的樹種と周辺植生相互の生育状況に応じ、林分の健全性の維持と質的向上のために行う。

実行に当たっては、目的樹種の生育状況等現地の実態に即した効果的な時期、回数、方法等を十分検討のうえ行う。

イ 主要な樹種の子育の時期等の目安は、次のとおりである。

作業種別	樹種	保育作業の年次別計画																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
下刈	カラマツ	○	◎	○	○													
	トドマツ エゾマツ アカエゾマツ	○	◎	◎	○	○	○	○	○									
つる切・除伐	カラマツ						←	○	→									
	トドマツ エゾマツ アカエゾマツ									←	○	→			○	→		

- 注1) 春植を基準としているので、秋植は植付年度の翌年を1年目と読み替える。
 2) 下刈の○は1回刈、◎は2回刈を示す。
 トドマツ等の下刈で、8年目については必要な箇所適用する。
 3) つる切、除伐の←○→は標準年次と範囲を示している。

ウ 保育の作業方法

a 下刈

下刈については、目的樹種の成長を阻害する草本植物等を除去し、目的樹

種の健全な育成を図るために行うものとする。

下刈の終了時点の目安は、樹種、植生の種類により異なるが、大部分の植栽木が植生高を脱し、又は同程度となり、生育に支障がなくなった時期とする。

b つる切

つる性植物の繁茂の状況により、目的樹種の成長を阻害するおそれがある場合、必要に応じて実施することとし、かん木の発生状況等を勘案し、除伐が必要な箇所については、原則として除伐と併行させ効率的に行うこととする。

c 除伐

除伐については、下刈の終了後、林冠がうっ閉する前の森林において、目的樹種の成長を阻害する樹木等を除去し、目的樹種の健全な成長を図るため、森林の状況に応じて適時適切に行うこととする。

また、目的外樹種であっても、その生育状況や将来の利用価値を勘案し、有用なものは、保残し育成することとする。

なお、つる性植物の繁茂状況を勘案し、極力つる切と併行させ効率的に実施する。

d 除伐Ⅱ類

目的樹種の本数密度が現に過密となっている林分、又は第1回目までの間伐までに調整を行わないと過密となることが予想される林分を対象に、目的樹種間の競争緩和を目的に実施する。

伐採木は、成長不良木、形質不良木等を対象とする。

(3) その他必要な事項

ア 森林の有する公益的機能を高度に発揮させつつ資源の有効活用を進める観点から、人工林における高齢級間伐や利用面をも重視した間伐、人工林等における複層状態の林分の上層木の間伐等を積極的に推進する。このため、できる限り簡易で壊れにくい森林作業道等による路網整備を進めるとともに、ハーベスタ等高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率作業システムによる間伐の普及を推進する。

イ 地球温暖化防止対策を推進するとともに、森林の健全性を確保する観点から、人工林における間伐等を推進する。

ウ 林地崩壊のおそれがある地域や急傾斜地等については、間伐及び保育の実施により下層植生の繁茂や樹根の生育を促し表土の安定を図るとともに、伐倒木等が河川に流出しないよう配慮する。

4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

(1) 公益的機能別施業森林の区域及び当該区域における森林施業の方法

公益的機能別施業森林の区域及び施業方法については別表1のとおり定める。

ア 公益的機能別施業森林の区域

① 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域
水源涵養機能の高度発揮が求められている森林について、森林の位置及び構成、当該区域にかかる地域の要請等を勘案しつつ、管理経営の一体性の確保の観点から、その配置についてできるだけまとまりをもたせて定めることとする。ただし、狭小な区域を定めることに特別な意義を有する治山事業施行地等についてはこの限りではない。

② 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

(ア) 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

山地災害防止機能・土壌保全機能の高度発揮が求められている森林について、森林の位置及び構成、当該区域にかかる地域の要請等を勘案しつつ、管理経営の一体性の確保の観点から、その配置についてできるだけまとまりを持たせて定めることとする。ただし、狭小な区域を定めることに特別な意義を有する治山事業施行地等についてはこの限りではない。

(イ) 快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

生活環境保全機能の高度発揮が求められている森林について、森林の位置及び構成、地域住民の意向等を勘案しつつ、管理経営の一体性の確保の観点から、その配置についてできるだけまとまりをもたせて定めることとする。

(ウ) 保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

保健・レクリエーション機能又は文化機能の高度発揮が求められている森林について、森林の位置及び構成、地域住民の意向等を勘案しつつ、管理経営の一体性の確保の観点から、その配置についてできるだけまとまりをもたせて定めることとする。ただし、狭小な区域を単位として定めることに特別な意義を有する保護林、レクリエーションの森等についてはこの限りではない。

イ 公益的機能別施業森林区域内における施業の方法

① 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域
当該区域内における施業の方法は、伐期の延長とともに伐採面積の縮小・分散を図ることを基本とし、下層植生の維持（育成複層林にあっては、下層木の

適確な生育)を図りつつ、根系の発達を確保するとともに、立地条件に応じて長伐期施業、択伐による複層林施業、複層林施業(択伐によるものを除く)を推進する。

- ② 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

当該区域内における施業の方法は、それぞれの区域の機能に応じ、森林の構成を維持し、樹種の多様性を増進することを基本として、長伐期施業、択伐による複層林施業、複層林施業(択伐によるものを除く)など、良好な自然環境の保全や快適な利用のための景観の維持・形成を目的とした施業を推進する。

(2) その他必要な事項

全ての森林は多様な生物の生育・生息の場として生物多様性の保全に寄与していることから、公益的機能別施業森林の区域の別を問わず、その土地固有の自然条件・立地条件に適した様々な生育段階や樹種から構成される森林がバランス良く配置されていることを目指すものとする。

とりわけ、原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林等については、その生態系の維持保存に特に配慮した適切な施業に努める。

5 林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項

(1) 林道等の開設及び改良に関する基本的な考え方

林道等路網の開設については、傾斜等の自然条件、事業量のまとまり等地域の特性に応じて、環境負荷の低減に配慮し、木材の搬出を伴う間伐の実施や多様な森林への誘導等に必要な森林施業を効果的かつ効率的に実施するため、一般車両の走行を想定する「林道」、主として森林施業用の車両の走行を想定する「林業専用道」、集材や造材等の作業を行う林業機械の走行を想定する「森林作業道」からなる路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システムに対応したものと、林道、林業専用道及び森林作業道を適切に組み合わせて開設することとする。

また、林道等の開設に当たっては、森林の利用形態や地形・地質等に応じ林業専用道を導入するなど、丈夫で簡易な規格・構造を柔軟に選択するとともに、森林施業の優先順位に応じた整備を推進することとする。

さらに、森林共同施業団地においては民有林林道等との連結など、効率的な路網の整備に配慮することとする。

○基幹路網の現状

単位 延長：km

区 分	路 線 数	延 長
基幹路網	286	1,037
うち林業専用道	3	12

注) 林業専用道は平成23年度から新たにできた区分であり、それ以降に開設されたものを計上する。

(2) 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムの基本的な考え方

高性能林業機械を含む機械作業システムの導入を促進するとともに、効率的な森林施業に資するため、林道、林業専用道及び森林作業道が有機的に連結するよう下表に示す路網密度を基準に路網を整備する。

○効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準

単位：m/ha

区 分	作業システム	路網密度	
			基幹路網
緩傾斜地（0°～15°）	車両系作業システム	100以上	35以上
中傾斜地（15°～30°）	車両系作業システム	75以上	25以上
	架線系作業システム	25以上	25以上
急傾斜地（30°～35°）	車両系作業システム	60以上	15以上
	架線系作業システム	15以上	15以上
急峻地（35°～）	架線系作業システム	5以上	5以上

(3) 更新を確保するため林産物の搬出方法を特定する森林の所在及びその搬出方法指定の基準

制限林以外の森林であって、地形、地質、土壌等関係から判断して搬出方法を特定しなければ土砂の流出又は崩壊等を引き起こすおそれがあり、森林の更新又は土地の保全に支障が生ずる林分とする。

該当なし。

(4) その他必要な事項

ア 林道の開設に当たっては、林道規定に基づく規格構造を遵守するとともに、土砂の流出を抑制するよう必要に応じて土留工等の施設を設置する。また、林道通行に対する安全確保のために必要な標識等の交通安全施設の整備に努める。

イ 林道工事におけるクマガラ及びクマタカ・オオタカ等生息森林の取扱い

林道工事の実施に当たっては、1の(3)のエにおける森林施業と同様の取扱いに努める。

なお、シマフクロウについては、行動圏の周辺森林において林道工事を実施する場合においては、繁殖期間以外の期間（7月～12月）に行うとともに、餌となる魚類、両生類等の生息環境に影響を及ぼさないよう努める。

6 森林施業の合理化に関する事項

(1) 林業に従事する者の養成及び確保に関する方針

林業事業体の育成を図るため、民有林及び関係機関との連携を図りつつ、事業の安定的な発注、経営の安定強化のための指導、機械化の促進等の指導を図る。

これらを通じて、優れた林業労働者の養成及び確保に資するものとする。

(2) 作業システムの高度化に資する林業機械の導入の促進に関する方針

森林整備や木材生産の効率化を図るため、チェーンソーとトラクタによる従来型の作業システムに替わる高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率作業システムを推進する。

(3) 林産物の利用促進のための施設の整備に関する方針

流域森林・林業活性化協議会等への積極的な参加を通じ、産地銘柄の形成、道産材の需要・販路の拡大等に資するよう関係者へのPR及び働きかけに努める。

(4) その他必要な事項

路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システムによる搬出間伐の実施、コンテナ苗植栽など造林・保育の低コスト化、森林バイオマスの有効活用、国有林の有するフィールド・技術力を活用したフォレスター等の人材養成及び林業技術の開発・普及に率先して取り組むほか、地方公共団体等との間における森林整備等に関する協定の締結や森林共同施業団地の設定、公益的機能維持増進協定による民有林支援の取組を推進するなどにより、流域の森林・林業の再生に向けて国有林の役割を継続的に果たしていくこととする。

第4 森林の保全に関する事項

1 森林の土地の保全に関する事項

(1) 土地の形質の変更に当たって留意すべき事項

ア 土地の形質の変更に当たっては、目的に応じて、その規模、態様等について、実施地区及び周辺の状態、地形、地質等を十分勘案して定めることとする。

特に、森林作業道等を設置する際は、配置や密度に十分留意し、土砂の流出や崩壊、水質汚濁の防止に努める。また、溪流沿いの森林作業道等の設置は、極力避けるものとする。

イ 土砂の切取、盛土を行う場合、法面については風化、浸食が生じないように法面緑化工、土留工、排水工など必要に応じて施工することとする。

ウ その他、土地の形質の変更に当たっては、その態様に依りて土砂の流出、崩壊などの防止に必要な施設を設けるなど、適切な保全上の措置を講ずることとする。

(2) 樹根及び表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区

単位 面積 : ha

森林の所在		面 積	留意すべき事項	備 考
市町村	区 域			
総 数		257,256 (193)		
旭 川 市	※市町村別の地区は、北海道森林管理局計画課に備え置く別冊のとおりである。	22,838	地形、地質、土壌等、気象の面から、森林の施業及び土地の形質変更に当たって土砂の流出または崩壊、水害等の災害の発生をもたらす、または地域における水源の確保、環境の保全に支障を及ぼすことのないように特に林地保全に留意する。	水かん、土流、土崩
鷹 栖 町		1,453 (97)		水かん
当 麻 町		41 (41)		水かん
比 布 町		1,590		水かん
愛 別 町		13,923		水かん
上 川 町		81,483		水かん、土流、土崩、その他
東 川 町		4,221		水かん、その他
美 瑛 町		32,173		水かん、土流、その他
富 良 野 市		12,416		水かん、土流、その他
上富良野町		4,156		水かん、その他
南富良野町		42,235 (54)		水かん
占 冠 村		40,726		水かん、土流、その他

注1) () 書きの数字は官公造林内数である。

注2) 備考欄の「水かん」は水源かん養保安林、「土崩」は土砂崩壊防備保安林、「土流」は土砂流出防備保安林、「その他」は砂防指定地、地すべり防止地区、山地災害防止地区である。

注3) 総数は四捨五入のため必ずしも一致しない。

(3) 森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要がある森林及びその搬出方法

指定の基準

制限林以外の森林であって、地形、地質、土壌等の自然的条件から判断して搬出方法を特定しなければ、土砂の流出又は崩壊を引き起こすおそれがあり、林地の保全に支障を及ぼす林分とする。

該当なし。

(4) その他必要な事項

防災的見地からの施業

林地崩壊のおそれがある地域や急傾斜地等については、樹根による土壌緊縛力を強化するため、育成複層林へ導くための施業等を推進することとする。

2 保安施設に関する事項

(1) 保安林の整備に関する事項

保安林については、Ⅱの第2の1に定める「森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」に則し、自然的条件、社会的要請及び保安林の配備状況等を踏まえ、水源の涵養、災害の防備、保健・風致の保存等の目的を達成するため保安林として指定する必要がある森林について、水源涵養保安林、土砂流出防備保安林、土砂崩壊防備保安林、保健保安林等の指定に重点を置いて保安林の配備を計画的に推進する。

(2) 保安施設地区に関する事項

保安施設地区については、Ⅱの第2の1に定める「森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」に則し、自然的条件、社会的要請及び保安林の配備状況等を踏まえ、水源の涵養、災害の防備等の目的を達成するため森林の造成事業又は森林の造成もしくは維持に必要な事業を行う必要がある森林又は土地について、指定する。

(3) 治山事業に関する事項

治山事業については、国民の安全・安心の確保を図る観点からⅡの第2の1に定める「森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」に則し、災害に強い地域づくりや水源地域の機能強化を図るため、緊急かつ計画的な実施を必要とする荒廃地等を対象として、植栽及び本数調整伐等の保安林の整備並びに溪間工、山腹工等の治山施設の整備を計画的に推進する。

(4) その他必要な事項

治山工事におけるクマゲラ及びクマタカ・オオタカ等生息森林の取扱い

治山工事の実施に当たっては、第3の1の(3)の工における森林施業と同様の取扱いに努める。

3 森林の保護等に関する事項

(1) 森林病虫害等の被害対策の方針

森林病虫害等による被害の防止対策の推進等については、被害の早期発見に努めるとともに、試験研究機関等と連携し、発生原因の究明及び早期防除に努める。

(2) 鳥獣による森林被害対策の方針

野生鳥獣等による被害の防止対策の推進等については、被害の早期発見に努めるとともに、試験研究機関等と連携し、発生原因の究明及び早期防除に努める。

近年急増しているエゾシカ農林業被害に対しては、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」に基づく「特定鳥獣保護管理計画制度」を受けて北海道が策定した「エゾシカ保護管理計画」に基づく個体数調整に協力するとともに、平成20年2月の「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律」

の施行を受けて、市町村における被害防止対策実施のための被害防止対策協議会に参画する中、関係機関等と連携を図ることとする。また、生息状況、被害動向等について情報収集を行うとともに、狩猟機会の拡大等の取組を推進し、主体的・直接的に被害の軽減に努めることとする。

(3) 林野火災の予防の方針

山火事は、都市近郊林、自然公園等、利用者の多い地域に発生していることから、森林巡視等による適切な森林管理を行う。

森林の巡視に当たっては、国有林の中で、森林レクリエーションのための利用者が特に多く、山火事等の森林被害が多発するおそれのある地域を重点として、現地の実態に即し適切に実施する。また、春先の乾燥時期には巡視を強化するとともに、保護標識等を設置して一般入林者に対する普及啓発を図る。

(4) その他必要な事項

レクリエーション等を目的とした森林の保健・文化・教育的利用をはじめとして、森林の有する多面的な機能の発揮に対する期待が高まっており、森林の適正な保護と管理が重要となってきた。国有林の中で、利用者が多く見込まれる地域にあつては、現地の実態に即し森林の巡視を適切に実施するとともに、森林の産物の盗採等の森林法違反行為及び廃棄物等の不法投棄の未然防止並びに森林被害の早期発見等に努める。

また、入り込みが集中し、植生が荒廃するおそれの高い地域では、植生保全のための巡視や一般入林者に対するマナー啓発などの活動を実施する。植生荒廃が確認された森林については、植生の復元や標識、ロープ、柵の設置等による立入防止対策、裸地化防止措置等を行うものとする。

クマゲラ、クマタカ・オオタカが生息する森林については、林道や歩道からおおむね50m以内の範囲に営巣木がある場合には、必要に応じて、営巣木の箇所の特定に結びつかないよう林道入口等へ看板を設置し、入林の抑制等を行う。

なお、森林の保護及び管理に当たっては、市町村、森林組合等の関係機関及び地域住民の一層の協力のもとに、効率的・合理的に推進する。

第5 計画量等

1 伐採立木材積

単位 材積：千m³

区 分	総 数			主 伐			間 伐		
	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹
総 数	852	636	216	199	156	44	653	481	172
前半5カ年の 計画量	407	310	97	109	86	24	298	225	74

注) 総数は四捨五入のため必ずしも一致しない。

2 間伐面積

単位 面積：ha

区 分	間 伐 面 積
総 数	18,238
前半5カ年の 計画量	8,565

3 人工造林及び天然更新別の造林面積

単位 面積：ha

区 分	人 工 造 林	天 然 更 新
総 数	236	486
前半5カ年の 計画量	169	327

4 林道の開設及び拡張に関する計画
別表2に示すとおり。

5 保安林整備及び治山事業に関する計画

(1) 保安林として管理すべき森林の種類別面積等

① 保安林として管理すべき森林の種類別の計画期末面積

単位 面積：ha

保安林の種類	面 積		備 考
		前半5カ年の計画面積	
保安林総数（実面積）	257,861	257,861	
水源かん養のための保安林	248,482	248,482	
災害防備のための保安林	8,491	8,491	
保健、風致の保存等のための保安林	11,722	11,722	

※ 総数欄は、2種類以上の目的を達成するために指定される保安林があるため、水源かん養のための保安林等の内訳の合計に一致しないことがある。

- ② 計画期間内において保安林の指定又は解除を相当とする森林の種類別の所在及び面積等
該当なし。
 - ③ 計画期間内において指定施業要件の整備を相当とする森林の面積
該当なし。
- (2) 保安施設地区として指定することを相当とする土地の所在及び面積等
該当なし。
- (3) 実施すべき治山事業の数量
別表3に示すとおり。

第6 その他必要な事項

1 保安林その他法令により施業について制限を受けている森林の施業方法

ア 制限林の所在及び面積

別表4に示すとおり。

イ 保安林の区域内の森林

保安林区域内の施業方法は、森林法の規定により各保安林ごとに定められた指定施業要件の範囲内で行うものとし、一般的留意事項は次のとおりである。

(ア) 主伐の方法

- a 主伐できる立木は、本森林計画区で定める標準伐期齢以上のものとする。
- b 伐採方法は、以下の3区分とする。
 - (a) 伐採種を定めない（皆伐を含む自由な伐採方法がとれるもの）
 - (b) 択伐（伐採区域内の立木を均等な割合で、単木的又は10m未満の幅の帯状に選定し伐採するもの、あるいは樹群を単位とする伐採で、当該伐採により生ずる無立木地の面積が0.05haを超えないもの）
 - (c) 禁伐（全ての立木の伐採を禁止するもの）

(イ) 伐採の限度

- a 皆伐面積の限度は、森林法施行令の規定に基づき公表される面積の範囲内とする。
- b 1箇所当たりの皆伐面積の限度は、当該保安林につき定められた指定施業要件の範囲内とする。
- c 防風、防霧保安林については、標準伐期齢以上である部分を幅20m以上にわたり帯状に残存させなければならない。
- d 択伐の限度は、当該伐採年度の初日における、その森林の立木材積に択伐率を乗じて得られる材積を超えないものとする。
- e 択伐率は、当該伐採年度の初日における当該森林の立木の材積から前回の

択伐を終えたときの当該森林の立木の材積を減じて得た材積を当該伐採年度の初日における当該森林の立木の材積で除して算出するものとする。ただし、その算出された数字が10分の3を超えるときは10分の3とする。(指定施業要件において植栽を定める森林の伐採跡地につき、植栽によらなければ的確な更新が困難と認められる場合については10分の4とする。)

(ウ) 間伐の方法及び限度

伐採年度ごとに伐採することができる立木の材積は、原則として当該伐採年度の初日におけるその森林の立木の材積の10分の3.5を超えず、かつその伐採によりその森林に係る樹冠疎密度が10分の8を下回ったとしても、当該伐採年度の翌年度の初日から起算しておおむね5年後において、その森林の当該樹冠疎密度が10分の8以上に回復することが確実であると認められる範囲内の材積を超えないものとする。

(イ) 植栽の方法、期間及び樹種

- a 伐採跡地への植栽は、満1年生以上の苗を、おおむね1ha当たり伐採跡地につき的確な更新を図るために必要なものとして農林水産省令で定める植栽本数以上の割合で均等に分布するように植栽するものとする。
- b 植栽は、伐採が終了した年度の翌年度の初日から起算して2年以内に行うものとする。
- c 植栽する樹種は、保安機能の維持又は強化を図り、かつ経済的利用に資することができる樹種として指定施業要件で指定された樹種を植栽するものとする。

ウ 自然公園特別地域内における森林

自然公園特別地域内における森林の施業方法の決定は、次の特別地域における制限により行う。

区 分	制 限 内 容
特別保護地区	特別保護地区内の森林は、禁伐とする。
第一種特別地域	<p>(1) 第一種特別地域内の森林は、禁伐とする。 ただし、風致維持に支障のない場合に限り単木択伐法を行うことができる。</p> <p>(2) 単木択伐法は、次の規定により行う。 ア 伐期齢は、標準伐期齢に見合う年齢に10年以上を加えて決定する。 イ 択伐率は現存蓄積の10%以内とする。</p>
第二種特別地域	<p>(1) 第二種特別地域内の森林の施業は、択伐法による。 ただし、風致維持に支障のない限り皆伐法によることができる。</p> <p>(2) 国立公園計画に基づく車道、歩道、集団施設地区及び単独施設の周辺（造林地、要改良林分、薪炭林を除く）は、原則として単木択伐法によるものとする。</p> <p>(3) 伐期齢は、標準伐期齢に見合う年齢以上とする。</p> <p>(4) 択伐率は、用材林において現存蓄積の30%以内とする。</p> <p>(5) 伐採及び更新に際し、特に風致上必要と認める場合は、自然環境局長（国定公園、道立自然公園にあっては知事）は、伐区、樹種、林型の変更を要望することができる。</p> <p>(6) 特に指定した風致樹については、保育及び保護に努めることとする。</p> <p>(7) 皆伐法による場合、その伐区は次のとおりとする。 ア 一伐区の面積は2ha以内とする。 ただし、樹冠疎密度3より多く保残木を残す場合又は車道、歩道、集団施設地区、単独施設等の主要公園利用地点から望見されない場合は、伐区面積を増大することができる。 イ 伐区は、更新後5年以上を経過しなければ連続して設定することはできない。 この場合においても、伐区は努めて分散させなければならない。</p>
第三種特別地域	第三種特別地域内の森林は、全般的な風致の維持を考慮して施業を実施し、特に施業の制限を受けないものとする。

エ 史跡名勝天然記念物内における森林

史跡名勝天然記念物内における森林の施業方法の決定は、文化財保護法等の法令によるが、一般的な取扱いは次による。

区 分	制 限 内 容
史跡名勝天然記念物	原則として禁伐とする。ただし、属地的に保存の要件として被害木の除去、病虫害防除等の施業を行えるものとする。

オ 鳥獣保護区内における森林

鳥獣保護区内における森林の施業方法の決定は「鳥獣保護区内の森林施業について（昭和39年1月17日付け39林野第1043号）」によるが、一般的な取扱いは次による。

区 分	制 限 内 容
鳥獣保護区 特 別 保 護 地 区	(1) 伐採の方法を制限しなければ鳥獣の生息、繁殖又は安全に支障があると認められるものについては伐採種は択伐。 (2) 伐採の方法を制限しなければ鳥獣の生息、繁殖又は安全に特に著しい支障があるものについては禁伐。 (3) その他の森林にあっては伐採種を定めない。 (4) 地域別の森林計画の初年度以降5年間において皆伐できる面積の限度は、当該特別保護地区内の皆伐区域面積を標準伐期齢に相当する数で除して得た面積の5倍とする。 (5) 保護施設を設けた樹木及び鳥獣の保護繁殖上必要があると認められる特定の樹種は禁伐とする。

カ その他の制限林

伐採の方法及び限度は、法令等の制限の範囲内とする。

キ その他

制限林が重複した場合の施業方法は、制限の強い方とする。

2 その他必要な事項

ア 民有林と国有林が一体となった森林づくり

民有林と国有林が一体となった森林づくりを進めるため、北海道と連携して、森林の整備・保全の推進、緑環境の整備による雇用対策、道民との協働の森林づくりの展開に向けた取組を実施する。

イ 森林環境教育の推進

森林の整備及び保全に当たっては、森林の持つ多面的機能の効用を享受している地域住民の理解が不可欠である。

このため、多様な野外活動や教育の場としてフィールドを提供するなど、森林環境教育の推進を図る。

Ⅲ 別 表

別表 1 公益的機能別施業森林の区域及び施業方法

1 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

単位 面積 : ha

区 分		森林の区域	面 積	施業方法
総 数			271,504.48	
市町村別内訳	旭 川 市	※森林の区域（林小班）は、北海道森林管理局計画課に備え置く別冊のとおりである。	23,313.94	【伐期の延長】
	富 良 野 市		14,306.72	【複層林施業（択伐）】
	鷹 栖 町		1,354.27	【複層林施業（択伐以外）】
	当 麻 町		—	
	比 布 町		1,591.83	
	愛 別 町		13,936.71	
	上 川 町		81,590.93	
	東 川 町		4,242.91	
	美 瑛 町		32,226.20	
	上富良野町		4,177.79	
	南富良野町		47,168.59	
	占 冠 村		47,594.59	

2 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

①土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

単位 面積 : ha

区 分		森林の区域	面 積	施業方法
総 数			31,800.97	
市町村別内訳	旭 川 市	※森林の区域（林小班）は、北海道森林管理局計画課に備え置く別冊のとおりである。	6,293.51	【伐期の延長】
	富 良 野 市		1,274.75	【複層林施業（択伐）】
	鷹 栖 町		—	【複層林施業（択伐以外）】
	当 麻 町		—	
	比 布 町		1.17	
	愛 別 町		300.47	
	上 川 町		15,768.91	
	東 川 町		183.30	
	美 瑛 町		4,732.19	
	上富良野町		228.30	
	南富良野町		552.42	
	占 冠 村		2,465.95	

②快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

単位 面積 : ha

区 分		森林の区域	面 積	施業方法
総 数			28.16	
市町村別内訳	旭 川 市	※森林の区域（林小班）は、北海道森林管理局計画課に備え置く別冊のとおりである。	0.13	【伐期の延長】
	富 良 野 市		—	【複層林施業（択伐）】
	鷹 栖 町		—	【複層林施業（択伐以外）】
	当 麻 町		—	
	比 布 町		—	
	愛 別 町		—	
	上 川 町		28.03	
	東 川 町		—	
	美 瑛 町		—	
	上富良野町		—	
	南富良野町		—	
	占 冠 村		—	

③保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

単位 面積 : ha

区 分		森林の区域	面 積	施業方法
総 数			103,177.22	
市町村別内訳	旭 川 市	※森林の区域（林小班）は、北海道森林管理局計画課に備え置く別冊のとおりである。	5,703.41	【伐期の延長】
	富 良 野 市		6,846.39	【複層林施業（択伐）】
	鷹 栖 町		254.01	【複層林施業（択伐以外）】
	当 麻 町		—	
	比 布 町		153.48	
	愛 別 町		840.10	
	上 川 町		38,603.56	
	東 川 町		4,190.95	
	美 瑛 町		20,922.62	
	上富良野町		2,857.64	
	南富良野町		18,844.99	
	占 冠 村		3,960.07	

別表2 林道の開設及び拡張に関する計画

ア 開設すべき林道の種類別及び箇所別の数量等

単位 延長：km、面積：ha

種類	区分	位置 (市町村)	路線名	延長	利用区域 面積	前半5年の 計画箇所	対図 番号	備考
自動車道 (基幹)	林業専用道	占冠村	ホロカトマム	2.0	260		5-10	
		小計	1 路線	2.0	260			
基幹 計			1 路線	2.0	260			
自動車道 (管理)	林業専用道	旭川市	西里川支流	1.2	202		2-22	
	林業専用道		中園	1.8	293		2-23	
	林業専用道		ウエンシナイ	1.0	277		2-24	
	林業専用道		旧道道	2.0	234		2-25	
	林業専用道		春日支線	1.6	114		2-26	
	林業専用道		盤水沢支線	1.8	490	○	3-42	
	林業専用道		大曲沢	2.4	138		3-43	
	林業専用道		鉾山	8.5	785	○	3-44	
	林業専用道		伊野沢連絡	6.0	281		3-45	
		小計	9 路線	26.3	2,814			
	林業専用道	富良野市	山部川	1.0	141	○	5-3	
		小計	1 路線	1.0	141			
	林業専用道	比布町	蘭留	0.6	250	○	2-27	
		小計	1 路線	0.6	250			
	林業専用道	愛別町	パンケ左岸	3.3	316	○	2-28	
	林業専用道		パンケ二の沢支線	2.0	241	○	2-29	
	林業専用道		協和左2号	2.0	204	○	2-30	
	林業専用道		協和右股	2.3	194		2-31	
	林業専用道		冷泉沢左股	2.5	233	○	2-32	
	林業専用道		狩布	1.8	357	○	2-33	
	林業専用道		牧場上	0.6	278	○	2-34	
	林業専用道		旭山1の沢分線	1.5	138	○	2-35	
	林業専用道		宮の沢	1.5	163	○	2-36	
	林業専用道		老根内山	2.0	346	○	2-37	
	林業専用道		愛山	3.5	191		2-38	
	林業専用道		パンケナイ	2.6	208		2-39	
	林業専用道		ポンガ左沢1号	1.2	71	○	2-40	
	林業専用道		パンケ二の沢	1.2	182	○	2-41	
		小計	14 路線	28.0	3,122			
	林業専用道	上川町	ムサシの沢	1.0	78		1-1	
	林業専用道		27線沢	2.0	221		1-2	
	林業専用道		熊の沢	4.0	305		1-3	
	林業専用道		滝口沢	3.0	444	○	1-4	
林業専用道	摺鉢沢		2.2	584		1-5		
林業専用道	シビナイ連絡		2.5	394	○	1-6		
林業専用道	双雲内		1.7	266		1-7		
林業専用道	清水沢		2.0	169	○	1-8		

種類	区分	位置 (市町村)	路線名	延長	利用区域 面積	前半5カ年 の計画箇所	対図 番号	備考	
自動車道 (管理)	林業専用道	上川町	チカリベツ支流連絡	3.7	283		1-9		
	林業専用道		名無沢	2.5	185		1-10		
	林業専用道		パンケソウンベツ沢	2.0	134		1-11		
	林業専用道		メノコ沢	2.0	317		1-12		
	林業専用道		清川熊の沢	4.6	403		1-13		
	林業専用道		天幕山	3.0	127		1-14		
	林業専用道		白川支線	3.5	182		1-15		
	林業専用道		開拓の沢	2.3	414		1-16		
	林業専用道		古川中央	4.0	460	○	1-17		
	林業専用道		古川支川右岸	5.4	251		1-18		
	林業専用道		古川横断	2.0	92		1-19		
	林業専用道		古川連絡	2.0	170		1-20		
	林業専用道		天幕沢	3.8	417		1-21		
			小計	21 路線	59.2	5,896			
	林業専用道		美瑛町	ルベシベ	1.0	83	○	4-46	
	林業専用道	美園支線		1.0	79	○	4-47		
	林業専用道	美園第2支線		1.5	89		4-48		
	林業専用道	青葉		1.0	193		4-49		
	林業専用道	辺別川		2.0	126	○	4-50		
	林業専用道	大榎沢		3.0	553	○	4-51		
	林業専用道	大榎連絡		3.0	245	○	4-52		
	林業専用道	大榎		2.0	206	○	4-53		
	林業専用道	大榎支線		2.5	84	○	4-54		
	林業専用道	大榎山		1.0	24	○	4-55		
	林業専用道	宇莫別		3.5	376	○	4-56		
	林業専用道	上俵大榎連絡		2.0	82		4-57		
	林業専用道	下俵真布支線		1.5	96		4-58		
	林業専用道	宇莫別支線		1.8	67		4-59		
	林業専用道	大榎連絡分線		1.5	71		4-60		
		小計	15 路線	28.3	2,374				
	林業専用道	上富良野町	フラヌイ第3	0.5	313	○	5-1		
	林業専用道		フラヌイ第5	0.5	313	○	5-2		
		小計	2 路線	1.0	626				
	林業専用道	南富良野町	石灰左股	1.5	278	○	5-4		
	林業専用道		両国	1.5	415	○	5-5		
	林業専用道		両国1号	2.1	468	○	5-6		
	林業専用道		藤松	3.0	272	○	5-7		
	林業専用道		迷沢	0.9	236	○	5-8		
	林業専用道		浅野	1.7	249	○	5-9		
		小計	6 路線	10.7	1,918				
	林業専用道	占冠村	八戸沢右線	1.5	177	○	6-11		
林業専用道	八戸沢		1.8	239	○	6-12			
林業専用道	ポン双右5号		1.0	322	○	6-13			

種類	区分	位置 (市町村)	路線名	延長	利用区域 面積	前半5カ年 の計画箇所	対図 番号	備考
自動車道 (管理)	林業専用道	占冠村	ペンケシュール3号	2.3	120	○	6-14	
	林業専用道		ニナン左線	1.0	176	○	6-15	
	林業専用道		元春右1号	3.0	277	○	6-16	
	林業専用道		ニセパオマナイ	2.0	655		6-17	
	林業専用道		フンベツ1の沢	1.0	166		6-18	
		小計	8 路線	13.6	2,132			
管理 計			77 路線	168.7	19,273			
合 計			78 路線	170.7	19,533			

注) 開設には新設する路線以外に、既存の作業道を改良等により林業専用道に繰り入れするものを含む。

イ 拡張すべき林道の種類別及び箇所別の数量等

単位 延長：m

種類	位置 (市町村)	路線名	延長	箇所数	備考 (拡張の内容)
自動車道 (基幹)	旭川市	春日	50	1	擁壁工
		雨紛越	50	1	溝渠工
		雨紛	50	1	擁壁工
	小計	3 路線	150	3	
	愛別町	八線沢	30	1	橋梁工
	小計	1 路線	30	1	
	上川町	トイマルク	50	1	落石防止工
		徳三郎	50	1	擁壁工
		ルベシナイ	80	2	溝渠工
		迷沢	40	1	擁壁工、溝渠工
		由仁石狩	300	5	橋梁工、擁壁工、溝渠工
	小計	5 路線	520	10	
	美瑛町	霞城	50	1	擁壁工
		上俵真布	40	2	溝渠工
	小計	2 路線	90	3	
	南富良野町	森田の沢	24	1	橋梁工
		富士循環	50	3	溝渠工
		金山	120	3	擁壁工
	小計	3 路線	194	7	
	占冠村	ペンケニニウ	60	1	擁壁工
ユワベツ		95	4	溝渠工	
ポイントマム		80	2	擁壁工、溝渠工	
三点沢		40	1	擁壁工	
双珠別		150	3	擁壁工、溝渠工	
小計	5 路線	425	11		
基幹 計		19 路線	1,409	35	
自動車道 (管理)	旭川市	老茶安左岸	50	1	擁壁工
	小計	1 路線	50	1	
	富良野市	山部川	40	1	擁壁工
	小計	1 路線	40	1	
	上川町	ニセチャロマップ	50	1	落石防止工
		カルシュナイ	50	1	擁壁工
		ポン由仁石狩	150	3	溝渠工、擁壁工
	小計	3 路線	250	5	
	美瑛町	台地	50	1	溝渠工
		大椏	20	1	擁壁工、落石防止工
		三突沢	50	1	落石防止工
小計	3 路線	120	3		
南富良野町	オンコノ沢	50	1	擁壁工	
小計	1 路線	50	1		

種類	位置 (市町村)	路線名	延長	箇所数	備考 (拡張の内容)
自動車道 (管理)	占冠村	ペンケ仁々宇支流	40	1	溝渠工
		一休の沢	100	4	擁壁工
		二線沢	70	2	擁壁工
		ペンケシュール	80	3	溝渠工
		無名沢	70	2	擁壁工、溝渠工
	小計	5 路線	360	12	
管理 計		12 路線	780	21	
合 計		31 路線	2,189	56	

別表3 治山事業の数量

単位 地区

所在		治山事業 施工地区数	主な工種	備考
市町村	区域（林班）			
旭川市	107, 108, 116, 125, 206, 207, 227, 230, 239, 292	5	本数調整伐	
富良野市	338, 362・363, 376	3	溪間工	
上川町	2001～2059, 2134～2138, 2060～ 2101, 2102～2133, 2139～2192, 2201～ 2217, 2321～2331, 2333～2340, 2218～ 2288, 2289～2320	40	溪間工、山腹工、 本数調整伐	
美瑛町	202, 204, 205, 1015, 1021, 1026, 1069～ 1072	60	溪間工、 本数調整伐	
南富良野町	54, 132, 135, 136, 137, 149, 155, 159, 1011・1012, 1065, 1068, 1074～ 1076, 1084・1085・1088・1089	15	溪間工、山腹工、 本数調整伐	
占冠村	1114, 1117, 1212, 1213、 1248, 1253, 1254, 1257, 1261, 1262	11	溪間工、山腹工、 本数調整伐	
合計		134		

別表4 法令により施業について制限を受けている森林の施業方法

単位 面積：ha

種 類	森林の所在		面積	施業方法		備考
	市町村	区 域		伐 採 方 法	その他	
保安林	水源涵養	旭川市	16,819.98	※保安林の指定 施業要件の範囲 内とする。		
		富良野市	12,265.10			
		鷹栖町	1,450.80			
		当麻町	41.19			
		比布町	1,590.66			
		愛別町	13,923.52			
		上川町	79,954.99			
		東川町	4,173.08			
		美瑛町	32,000.03			
		上富良野町	4,152.31			
		南富良野町	42,238.08			
		占冠村	39,829.72			
	小計		248,439.46			
	土砂流出 防備	旭川市	5,990.81			
		富良野市	17.46			
		上川町	1,477.92			
		美瑛町	4.88			
		占冠村	895.83			
	小計		8,386.90			
	土砂崩壊 防備	旭川市	53.90			
		上川町	49.88			
	小計		103.78			
	保健	旭川市	(1,086.31)			
			229.84			
		鷹栖町	(252.45)			
			0.04			
		上川町	(4,498.79)			
			2.52			
		東川町	(659.88)			
		38.37				
美瑛町		(2,021.98)				
	132.33					
上富良野町	(1,382.90)					
	3.48					
南富良野町	(705.03)					
占冠村	417.39					
小計		(10,607.34)				
		823.97				

単位 面積 : ha

種 類		森林の所在		面積	施業方法		備考			
		市町村	区 域		伐 採 方 法	その他				
保安林	風致	旭川市	※森林の区域 (林班)は、 北海道森林管 理局計画課に 備え置く別冊 のとおりであ る。	(226.57)	※保安林の指定 施業要件の範囲 内とする。					
	小計			(226.57)						
	計			(10,833.91)						
砂防指定地	富良野市			(36.12)				択伐、禁伐		
	比布町			32.90						
	上川町			1.17						
	東川町			(39.11)						
	美瑛町			0.31						
	上富良野町			(166.03)						
	占冠村			12.63						
計		(708.34)								
国立公園	特別保護 地区	富良野市		(1,297.88)	※Ⅱ 第6-1 ウの表による。	大 雪 山 国 立 公 園				
		上川町		(7,923.59)						
		東川町		0.13						
		美瑛町		(1,274.85)						
		上富良野町		(10,045.22)						
		南富良野町		(1,059.63)						
	小計		(22,613.28)							
	第一種 特別地域	富良野市		(1,034.78)						
		上川町		(8,200.26)						
		東川町		19.39						
		美瑛町		(727.79)						
		上富良野町		(4,290.02)						
		南富良野町		(1,175.55)						
	小計		(1,424.96)							
計		(16,853.36)								
		20.41								

単位 面積 : ha

種 類	森林の所在		面積	施業方法		備考
	市町村	区 域		伐 採 方 法	その他	
国立公園	第二種 特別地域	上川町	(4,770.55) 48.52	※Ⅱ 第6-1 ウの表による。		大雪山国立公園
		東川町	(1,091.98) 7.55			
		美瑛町	(11.77) 48.19			
		上富良野町	(229.49) 20.29			
	小計		(6,103.79) 124.55			
	第三種 特別地域	富良野市	(275.74)			
		上川町	(30,231.81) 10.04			
		美瑛町	(2,250.19)			
		上富良野町	(531.97)			
		南富良野町	(1,423.14)			
	小計		(34,712.85) 10.04			
	計		(80,283.28) 155.32			
	道立自然公園	第一種 特別地域	富良野市			
南富良野町			(2,037.61)			
小計		(2,728.54)				
第二種 特別地域		富良野市	(2,065.62) 0.15			
		南富良野町	(6,416.88)			
小計		(8,482.50) 0.15				
第三種 特別地域		富良野市	(2,509.45) 0.08			
小計		(2,509.45) 0.08				
計		(13,720.49) 0.23				
鳥獣保護区 特別保護地区	富良野市	(41.45)	※Ⅱ 第6-1 オの表による。			
	愛別町	(33.63)				
	上川町	(172.42)				
	美瑛町	(38.75)				
	南富良野町	40.00				
	占冠村	(41.57)				
計		(327.82) 40.00				

※森林の区域
(林班)は、
北海道森林管
理局計画課に
備え置く別冊
のとおりである。

単位 面積 : ha

種 類	森林の所在		面積	施業方法		備考
	市町村	区 域		伐 採 方 法	その他	
特別母樹林	上川町	※森林の区域 (林班)は、 北海道森林管 理局計画課に 備え置く別冊 のとおりであ る。	(4.45)	※Ⅱ 第6-1 カの表による。		
計			(4.45)			
史跡名勝 天然記念物	富良野市		(566.95)	※Ⅱ 第6-1 エの表による。		
	上川町		(7,261.30)			
	東川町		(1,274.85)			
	美瑛町		(10,045.19)			
	上富良野町		(1,059.82)			
南富良野町	(1,357.90)					
計			(21,566.01)			

注) () 書の数値は重複制限林で外数である。

(附)参 考 资 料

1 森林計画区の概況

(1) 市町村別土地面積及び森林面積

単位 面積:ha

区 分	区域面積 (A)	森 林 面 積			森林比率 B/A	
		総数(B)	国有林	民有林		
総 数	565,477	419,940	273,794	146,153	74%	
市町村別内訳	旭 川 市	74,760	39,926	23,555	16,371	53%
	富 良 野 市	60,097	42,168	14,502	27,667	70%
	鷹 栖 町	13,944	6,314	1,481	4,833	45%
	東 神 楽 町	6,864	1,452	0	1,452	21%
	当 麻 町	20,495	13,396	41	13,356	65%
	比 布 町	8,729	4,442	1,590	2,852	51%
	愛 別 町	24,971	20,594	13,937	6,658	82%
	上 川 町	104,924	99,104	81,581	17,523	94%
	東 川 町	24,706	18,657	4,240	14,418	76%
	美 瑛 町	67,716	46,922	32,238	14,685	69%
	上富良野町	23,718	11,233	5,739	5,495	47%
	中富良野町	10,870	3,984	60	3,925	37%
	南富良野町	66,552	59,035	47,220	11,815	89%
	占 冠 村	57,131	52,713	47,610	5,103	92%

注) 区域面積は「平成24年北海道統計書」、森林面積は「平成23年度北海道林業統計」による。
 なお、森林面積(国有林)は、森林管理局所管国有林及びその他国有林である。

(2) 地 況
ア 気 候

観測地	気温(°C)			年降水量 (mm)	最深積雪 (cm)	風速(m/s)		風向	備考
	最高	最低	平均			最大	平均		
江 丹 別	32.7	-30.3	5.6	1,390	—	11.4	1.3	西北西	アメダス
比 布	32.8	-26.3	6.4	1,102	—	10.9	2.0	南南西	アメダス
上 川	30.9	-25.2	5.2	1,141	96	15.2	2.3	東	アメダス
旭 川	33.1	-24.4	7.2	1,252	94	15.8	2.9	西	気象台、測候所
瑞 穂	—	—	—	1,367	—	—	—	—	アメダス
層 雲 峡	—	—	—	1,516	135	—	—	—	アメダス
東 川	33.2	-25.5	6.6	1,089	—	10.6	1.9	南	アメダス
東 神 楽	32.2	-26.0	6.2	750	71	14.3	3.2	西北西	アメダス
志 比 内	32.0	-23.5	6.0	1,249	—	11.0	1.7	南東	アメダス
美 瑛	32.1	-26.1	6.0	1,139	85	12.7	1.7	南南東	アメダス
白 金	—	—	—	1,825	—	—	—	—	アメダス
上富良野	33.6	-25.4	6.9	1,149	—	12.6	2.1	南西	アメダス
富 良 野	33.7	-28.4	6.8	1,107	83	12.7	2.0	南東	アメダス
麓 郷	32.7	-26.0	6.1	1,145	—	10.9	1.6	東南東	アメダス
幾 寅	31.3	-26.5	5.8	1,069	82	9.7	1.7	北西	アメダス
金 山	—	—	—	1,282	—	—	—	—	アメダス
占 冠	30.8	-31.4	5.2	1,396	108	8.9	1.8	西南西	アメダス

注1) 気象庁HP「気象統計情報(<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>)」検索結果による。

2) 気象データは2012年のデータである。

イ 地 勢

(ア) 主な山岳

山岳名	標高(m)	所在等
大 雪 山 (旭 岳)	2,291	東川町
ト ム ラ ウ シ 山	2,141	美瑛町
十 勝 岳	2,077	美瑛町、上富良野町
美 瑛 岳	2,052	美瑛町
大 雪 山 (黒 岳)	1,984	上川町
石 狩 岳	1,967	上川町
忠 別 岳	1,963	美瑛町、上川町
富 良 野 岳	1,912	上富良野町、富良野市
武 利 岳	1,876	上川町
芦 別 岳	1,726	富良野市、南富良野町
夕 張 岳	1,668	南富良野町

注) 北海道統計書(平成24年)による。

(イ) 主な河川等

河川名	主たる経過地	流路延長 (km)	流域面積 (km ²)	備 考
石 狩 川	上川町・旭川市	268	14,330	一級河川
鷓 川	占冠村	135	1,270	一級河川

注) 北海道統計書(平成24年)による。

(3) 土地利用の状況

単位 面積:ha

区分	総数	森林	農地				その他	
			計	うち田	うち畑	うち牧場		
総数	565,477	419,940	80,300	43,142	34,897	2,261	65,237	
市町村別内訳	旭川市	74,760	39,926	15,931	11,639	3,847	445	18,903
	富良野市	60,097	42,168	11,156	3,830	7,322	4	6,773
	鷹栖町	13,944	6,314	4,800	4,057	743	-	2,830
	東神楽町	6,864	1,452	3,625	2,648	977	-	1,787
	当麻町	20,495	13,396	4,892	4,257	635	-	2,207
	比布町	8,729	4,442	2,749	2,456	265	28	1,538
	愛別町	24,971	20,594	1,984	1,772	188	24	2,393
	上川町	104,924	99,104	2,393	569	792	1,032	3,427
	東川町	24,706	18,657	3,851	3,112	739	-	2,198
	美瑛町	67,716	46,922	13,456	2,753	10,003	700	7,338
	上富良野町	23,718	11,233	7,048	2,254	4,770	24	5,437
	中富良野町	10,870	3,984	4,827	3,362	1,465	0	2,059
	南富良野町	66,552	59,035	2,844	279	2,565	-	4,673
	占冠村	57,131	52,713	744	154	586	4	3,674

注1) 総数及び農地は「平成24年北海道統計書」、森林面積は「平成23年度北海道林業統計」による。

2) 計は四捨五入のため必ずしも一致しない。

(4) 産業別就業者数

単位 人数:人

区分	総数	第1次産業			第2次産業	第3次産業	分類不能の産業	
		総数	農業・林業	漁業				
総数	203,690	15,801	15,783	18	33,090	148,032	6,767	
市町村別内訳	旭川市	154,253	4,155	4,148	7	26,209	117,667	6,222
	富良野市	12,283	2,500	2,500	-	1,690	7,982	111
	鷹栖町	3,471	726	726	-	479	2,247	19
	東神楽町	4,471	777	777	-	702	2,889	103
	当麻町	3,424	1,048	1,046	2	571	1,794	11
	比布町	2,058	671	669	2	279	1,106	2
	愛別町	1,585	503	503	-	266	816	-
	上川町	2,187	255	248	7	225	1,707	-
	東川町	3,775	817	817	-	688	2,187	83
	美瑛町	5,202	1,677	1,677	-	569	2,815	141
	上富良野町	5,929	1,081	1,081	-	651	4,136	61
	中富良野町	2,801	1,195	1,195	-	272	1,320	14
	南富良野町	1,400	320	320	-	248	832	-
	占冠村	851	76	76	-	241	534	-

注) 平成22年国勢調査による。

2 森林の現況

(1) 齢級別森林資源表

森林計画区:006 上川南部

単位 面積:ha、材積:1,000m³、材積:1,000m³、立竹:1,000束、成長量:1,000m³

区分	総数			1 齢級			2 齢級			3 齢級			4 齢級		
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
総数	271,725.25	35,852	607	23.14	37		9.44			95.31	14		65.13		
総数	241,589.12	35,852	607	23.14	37		9.44			95.31	14		65.13		
針	140,636.15	20,011	423	16.40	37		8.87			95.31	14		65.13		
広	100,952.97	15,842	184	6.74			0.57								
総数	54,347.38	6,274	182	15.25			9.44			0.36			65.13		
針	54,019.54	4,725	156	15.25			8.87			0.36			65.13		
広	327.84	1,549	26				0.57								
総数	54,212.75	6,261	182	15.25			9.44			0.36			65.13		
針	53,884.91	4,713	156	15.25			8.87			0.36			65.13		
広	327.84	1,548	26				0.57								
	(134.63)														
	(48.28)														
総数	134.63	13													
針	134.63	13													
広															
総数	187,241.74	29,578	425	7.89	37					94.95	14				
針	86,616.61	15,285	267	1.15	37					94.95	14				
広	100,625.13	14,293	158	6.74											
総数															
針															
広															
総数	41,260.09	5,371	107	4.52	1					94.95	14				
針	18,798.80	2,711	66	1.15	1					94.95	14				
広	22,461.29	2,660	41	3.37											
総数	145,981.65	24,207	318	3.37	37										
針	67,817.81	12,574	201		36										
広	78,163.84	11,633	117	3.37											
竹林															
無立木地	30,136.13														

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみの林分については、本表の集計には含まれていない。

2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

3.()は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

森林計画区:006 上川南部

単位 面積:ha、材積:1,000m³、立竹:1,000束、成長量:1,000m³

区分	5 齢級			6 齢級			7 齢級			8 齢級			9 齢級		
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
総数	総数	753.90	4	4,752.10	79	4	7,533.09	422	21	8,848.03	920	40	11,821.67	1,359	47
	針	753.90	4	4,752.10	79	4	7,533.09	422	21	8,848.03	920	40	11,821.67	1,359	47
	広	752.90	2	4,546.43	35	3	7,187.32	261	18	7,972.51	647	35	10,425.57	943	39
総数	総数	1.00	2	205.67	43	1	345.77	161	3	875.52	273	5	1,396.10	416	8
	針	752.90	4	4,505.28	61	3	7,042.36	392	19	7,765.85	849	37	9,938.30	1,180	41
	広	752.90	2	4,500.84	33	3	7,037.70	249	17	7,751.73	627	34	9,933.07	884	36
人工林	総数	688.62	4	4,502.15	28	3	7,016.36	392	19	7,744.15	849	37	9,918.78	1,180	41
	針	688.62	2	4,497.71	33	3	7,011.70	249	17	7,730.03	627	34	9,913.55	884	36
	広		2	4.44	28	2	4.66	143	2	14.12	223	4	5.23	296	5
立木地	総数	64.28		3.13			(48.28)			21.70			19.52	1	
	針	64.28		3.13			26.00			21.70			19.52	1	
	広														
天然林	総数	1.00		246.82	18	1	490.73	30	2	1,082.18	71	3	1,883.37	179	6
	針			45.59	3	3	149.62	12	1	220.78	20	1	492.50	59	4
	広	1.00		201.23	15	1	341.11	18	1	861.40	50	1	1,390.87	120	3
無立木地	総数														
	針														
	広														
天然林	総数	1.00		207.82	10	1	490.73	30	2	1,052.50	68	3	1,643.50	147	5
	針			43.38	3	3	149.62	12	1	219.59	20	1	434.05	49	3
	広	1.00		164.44	8	8	341.11	18	1	832.91	48	1	1,209.45	98	2
天然林	総数			39.00	8		29.68			29.68	3		239.87	32	1
	針			2.21			1.19			1.19			58.45	10	1
	広			36.79	7		28.49			28.49	2		181.42	22	
竹林															
無立木地															

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみ林分については、本表の集計には含まれていない。

2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

3.()は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

森林計画区:006 上川南部

単位 面積:ha、材積:1,000m³、立竹:1,000束、成長量:1,000m³

区分	1.0 齢級			1.1 齢級			1.2 齢級			1.3 齢級			1.4 齢級		
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
総数	12,108.34	1,635	45	14,046.85	2,354	61	7,729.71	1,433	36	4,690.32	841	20	1,745.65	278	6
総数	12,108.34	1,635	45	14,046.85	2,354	61	7,729.71	1,433	36	4,690.32	841	20	1,745.65	278	6
針	10,399.54	1,144	37	11,417.58	1,723	50	5,804.07	1,022	29	3,147.75	592	16	971.45	171	4
広	1,708.80	491	9	2,629.27	631	11	1,925.64	410	7	1,542.57	249	4	774.20	107	2
総数	9,866.88	1,338	36	8,985.92	1,452	31	3,021.93	538	10	730.51	133	2	107.92	20	
針	9,830.78	1,024	31	8,848.58	1,119	25	2,949.07	402	8	694.94	110	2	106.27	18	
広	36.10	314	5	137.34	333	6	72.86	136	2	35.57	23		1.65	3	
総数	9,866.88	1,338	36	8,985.92	1,452	31	3,021.93	537	10	730.51	133	2	107.92	20	
針	9,830.78	1,024	31	8,848.58	1,119	25	2,949.07	401	8	694.94	109	2	106.27	18	
広	36.10	314	5	137.34	333	6	72.86	136	2	35.57	23		1.65	3	
				(4.95)			(2.97)			(3.13)					
育 成															
育 成															
針															
広															
総数	2,241.46	297	9	5,060.93	902	30	4,707.78	895	26	3,959.81	708	18	1,637.73	258	6
針	568.76	120	6	2,569.00	604	25	2,855.00	620	22	2,452.81	482	14	865.18	153	4
広	1,672.70	177	3	2,491.93	298	5	1,852.78	274	5	1,507.00	226	4	772.55	105	2
育 成															
育 成															
針															
広															
総数	1,728.75	225	7	2,017.34	220	6	2,646.07	443	13	1,605.57	192	5	1,091.42	170	4
針	462.03	93	4	714.63	104	4	1,671.04	310	11	869.13	111	3	577.12	100	3
広	1,266.72	131	2	1,302.71	117	2	975.03	133	2	736.44	81	1	514.30	70	1
天 生	512.71	72	2	3,043.59	681	24	2,061.71	452	13	2,354.24	516	14	546.31	88	2
針	106.73	26	1	1,854.37	500	20	1,183.96	311	11	1,583.68	371	11	288.06	53	1
広	405.98	46	1	1,189.22	181	3	877.75	141	2	770.56	145	2	258.25	34	1
竹林															
無立木地															

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみの林分については、本表の集計には含まれていない。

2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

3.()は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

森林計画区:006 上川南部

単位 面積:ha、材積:1,000m³、立竹:1,000束、成長量:1,000m³

区分	15 齢級			16 齢級			17 齢級			18 齢級			19 齢級		
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
総数	総数	470	10	1,293.48	243	4	3,835.40	574	8	1,921.74	283	4	5,798.22	683	10
	針	470	10	1,293.48	243	4	3,835.40	574	8	1,921.74	283	4	5,798.22	683	10
	広	319	7	902.67	158	2	2,152.55	348	5	773.92	118	2	2,540.86	306	5
総数	総数	150	2	390.81	84	1	1,682.85	226	3	1,147.82	165	2	3,257.36	377	5
	針	34	1	426.29	94	1	751.89	139	1	83.34	29		52.38	10	
	広	28	1	423.46	73	1	750.20	125	1	83.34	23		52.38	8	
育成林	総数	6		2.83	21		1.69	14			5			1	
	針	34		426.29	94		751.89	136		83.34	21		52.38	10	
	広	28		423.46	73		750.20	122		83.34	16		52.38	8	
人工林	総数	6		2.83	21		1.69	14		(107.58)	5			1	
	針														
	広														
立木地	総数										8				
	針										8				
	広														
天然林	総数	436	9	867.19	149	3	3,083.51	435	7	1,838.40	254	4	5,745.84	673	10
	針	292	7	479.21	86	2	1,402.35	223	4	690.58	94	2	2,488.48	298	5
	広	144	2	387.98	63	1	1,681.16	212	3	1,147.82	160	2	3,257.36	376	5
育成林	総数														
	針														
	広														
育成林	総数	122	2	617.04	102	2	1,600.92	178	3	1,179.42	160	2	4,825.65	543	9
	針	64	2	332.78	58	1	631.56	73	1	465.98	64	1	2,080.69	240	4
	広	58	1	284.26	44	1	969.36	105	1	713.44	97	1	2,744.96	304	4
天然林	総数	314	7	250.15	47	1	1,482.59	257	4	658.98	94	1	920.19	130	2
	針	228	5	146.43	28	1	770.79	150	3	224.60	31	1	407.79	58	1
	広	86	1	103.72	19		711.80	107	1	434.38	64	1	512.40	72	1
竹林															
無立木地															

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみの林分については、本表の集計には含まれていない。

2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

3.()は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

森林計画区:006 上川南部

単位:面積:ha、材積:1,000m³、立竹:1,000束、成長量:1,000m³

区分	20 齢級			21 齢級以上		
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
総数	1,734.05	211	3	150,222.92	24,013	288
総数	1,734.05	211	3	150,222.92	24,013	288
針	833.89	108	2	68,956.55	12,062	169
広	900.16	104	1	81,266.37	11,951	119
総数	1.29	1		0.93		
針	1.29	1		0.93		
広						
育単層林	1.29	1		0.93		
針	1.29	1		0.93		
広						
育復層林						
総数						
針						
広						
総数	1,732.76	211	3	150,221.99	24,013	288
針	832.60	107	2	68,955.62	12,062	169
広	900.16	104	1	81,266.37	11,951	119
総数						
針						
広						
育単層林	995.01	123	2	18,555.42	2,621	42
針	423.49	58	1	9,195.85	1,339	24
広	571.52	65	1	9,359.57	1,282	18
育復層林	737.75	87	1	131,666.57	21,391	246
針	409.11	49	1	59,759.77	10,723	145
広	328.64	38		71,906.80	10,669	102
天然林						
竹林						
無立木地						

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみ林分については、本表の集計には含まれていない。
 2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。
 3.()は、人工林の育成復層林の上、中層木の面積で外書。

(2) 制限林普通林別森林資源表

森林計画区:006 上川南部

区分		立木地												無立木地等					計
		人工林						天然林						伐採跡地	未立木地	改植予定地	林地以外の土地	計	
		育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然生林	計	竹林	計									
制限林	面積	針	47,801.27	126.71	47,927.98	18,083.18	65,077.86	83,161.04	131,089.02										
		広	322.16		322.16	21,668.71	75,139.52	96,808.23	97,130.39										
	材積	計	48,123.43	126.71	48,250.14	39,751.89	140,217.38	179,969.27	228,219.41				29,866.08						
普通林	成長量	針	4,087.235	11,303	4,098,538	2,608,502	12,117,688	14,726,190	18,824,728										
		広	1,390,944	92	1,391,036	2,552,173	11,189,988	13,742,161	15,133,197										
		計	5,478,179	11,395	5,489,574	5,160,675	23,307,676	28,468,351	33,957,925										
計	面積	針	138,262.3	45.6	138,307.9	63,308.9	193,839.8	257,148.7	395,456.6										
		広	23,593.3	1.6	23,594.9	39,363.1	111,938.0	151,301.1	174,896.0										
		計	161,855.6	47.2	161,902.8	102,672.0	305,777.8	408,449.8	570,352.6										
計	成長量	針	6,083.64	7.92	6,091.56	715.62	2,739.95	3,455.57	9,547.13										
		広	5.68		5.68	792.58	3,024.32	3,816.90	3,822.58										
		計	6,089.32	7.92	6,097.24	1,508.20	5,764.27	7,272.47	13,369.71				270.05						
計	材積	針	624,845	1,515	626,360	102,594	466,565	559,159	708,527										
		広	157,669	114	157,783	107,492	443,252	550,744	708,527										
		計	782,514	1,629	784,143	210,086	899,817	1,109,903	1,894,046										
計	成長量	針	17,855.3	22.9	17,878.2	2,561.0	7,195.8	9,756.8	27,635.0										
		広	2,679.4	2.0	2,681.4	1,658.7	4,974.5	6,633.2	9,314.6										
		計	20,534.7	24.9	20,559.6	4,219.7	12,170.3	16,390.0	36,949.6										
計	面積	針	53,884.91	134.63	54,019.54	18,798.80	67,817.81	86,616.61	140,636.15										
		広	327.84		327.84	22,461.29	78,163.84	100,625.13	100,952.97										
		計	54,212.75	134.63	54,347.38	41,260.09	145,981.65	187,241.74	241,589.12				30,136.13						
計	材積	針	4,712,080	12,818	4,724,898	2,711,096	12,574,253	15,285,349	20,010,247										
		広	1,548,613	206	1,548,819	2,659,665	11,633,240	14,292,905	15,841,724										
		計	6,260,693	13,024	6,273,717	5,370,761	24,207,493	29,578,254	35,851,971										
計	成長量	針	156,117.6	68.5	156,186.1	65,869.9	201,035.6	266,905.5	423,091.6										
		広	26,272.7	3.6	26,276.3	41,021.8	116,912.5	157,934.3	184,210.6										
		計	182,390.3	72.1	182,462.4	106,891.7	317,948.1	424,839.8	607,302.2										

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみ林分の面積については、本表の集計には含まれていない。
2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

(3) 市町村別森林資源表

森林計画区:006 上川南部

市町村	区分	立木地										無立木地等											
		人工林					天然林					竹林	計	伐採跡地	未立木地	改植予定地	林地以外の土地	計					
		育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然生林	計															
旭川市	面積	針	8,308.59	8,308.59	1,058.66	1,441.17	2,499.83																
		広	138.56	138.56	4,420.38	7,524.98	11,945.36																
	材積	針	510,714	510,714	5,479.04	8,966.15	14,445.19																
		広	328,215	328,215	434,785	1,007,775	1,442,560																
成長量	針	計	838,929	838,929	555,035	1,220,389	1,775,424																
		広	14,986.5	14,986.5	3,516.9	3,492.4	7,009.3																
	広	計	5,532.7	5,532.7	7,297.4	11,795.4	19,092.8																
		針	20,519.2	20,519.2	10,814.3	15,287.8	26,102.1																
富良野市	面積	針	2,466.71	2,466.71	354.38	3,288.07	3,642.45																
		広	21.38	21.38	583.38	5,608.65	6,192.03																
	材積	針	2,488.09	2,488.09	937.76	8,896.72	9,834.48																
		広	266,642	266,642	38,960	554,862	593,822																
成長量	針	計	91,903	92,017	63,700	887,534	951,234																
		広	358,545	360,174	102,660	1,442,396	1,545,056																
	広	針	8,046.4	8,069.3	1,016.6	6,538.0	7,554.6																
		計	1,552.1	1,554.1	1,028.7	8,295.5	9,324.2																
鷹栖町	面積	針	9,598.5	9,623.4	2,045.3	14,833.5	16,878.8																
		広	544.86	544.86	69.20	108.00	177.20																
	材積	針	0.24	0.24	306.83	392.29	699.12																
		計	545.10	545.10	376.03	500.29	876.32																
当麻町	面積	針	12,755	12,755	9,094	18,696	27,790																
		計	6,022	6,022	36,725	65,787	102,512																
	材積	針	18,777	18,777	45,819	84,483	130,302																
		計	595.2	595.2	197.0	270.6	467.6																
計	成長量	針	102.5	102.5	539.0	708.7	1,247.7																
		計	697.7	697.7	736.0	979.3	1,715.3																
	面積	針	39.90	39.90																			
		計	39.90	39.90																			
計	材積	針	5,805	5,805																			
		計	2,271	2,271																			
	成長量	針	8,076	8,076																			
		計	174.1	174.1																			
計	成長量	針	38.6	38.6																			
		計	212.7	212.7																			
	面積	針	1.29	1.29																			
		計	1.29	1.29																			
計	成長量	針	38.6	38.6																			
		計	212.7	212.7																			

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみの林分の面積については、本表の集計には含まれていない。

2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

森林計画区:006 上川南部

市町村	区分	立木地										無立木地等					計	
		人工林					天然林					伐採跡地	未立木地	改植 予定地	林地以外 の土地	計		
		育成単層林		育成複層林		計	育成単層林		育成複層林		計							竹林
		計	針	計	針		計	針	計	針								
比布町	面積	針	496.80		496.80		46.51	47.82	94.33		591.13							
		広					346.40	641.30	987.70									
	材積	針	496.80		496.80		392.91	689.12	1,082.03		1,578.83				13.00			1,591.83
		広	20,319		20,319		5,163	7,247	12,410		32,729							32,729
	成長量	針	6,477		6,477		35,670	91,550	127,220		133,697							133,697
		広	26,796		26,796		40,833	98,797	139,630		166,426							166,426
	面積	針	974.3		974.3		193.0	111.6	304.6		1,278.9							1,278.9
		広	110.2		110.2		558.3	955.6	1,513.9		1,624.1							1,624.1
	成長量	針	1,084.5		1,084.5		751.3	1,067.2	1,818.5		2,903.0							2,903.0
		広	4,656.07		4,656.07		561.81	1,011.02	1,572.83		6,228.90							6,228.90
愛別町	面積	針	11.25		11.25		2,699.09	4,779.40	7,478.49		7,489.74							
		広	4,667.32		4,667.32		3,260.90	5,790.42	9,051.32		13,718.64			218.34			13,936.98	
	材積	針	309,002		309,002		64,932	150,057	214,989		523,991						523,991	
		広	83,364		83,364		270,594	660,601	931,195		1,014,559						1,014,559	
	成長量	針	392,366		392,366		335,526	810,658	1,146,184		1,538,550						1,538,550	
		広	11,633.9		11,633.9		1,825.2	2,367.4	4,192.6		15,826.5						15,826.5	
	面積	針	1,419.3		1,419.3		4,226.6	7,522.0	11,748.6		13,167.9						13,167.9	
		広	13,053.2		13,053.2		6,051.8	9,889.4	15,941.2		28,994.4						28,994.4	
	材積	針	10,572.07	3.13	10,575.20		7,110.49	27,763.64	34,874.13		45,449.33						45,449.33	
		広	87.42		87.42		4,701.11	21,329.05	26,030.16		26,117.58						26,117.58	
上川町	面積	針	10,659.49	3.13	10,662.62		11,811.60	49,092.69	60,904.29		71,566.91			10,031.32		10,031.32	81,598.23	
		広	942,297	654	942,951		1,151,843	5,431,414	6,583,257		7,526,208						7,526,208	
	材積	針	309,052	2	309,054		574,069	3,044,881	3,618,950		3,928,004						3,928,004	
		広	1,251,349	656	1,252,005		1,725,912	8,476,295	10,202,207		11,454,212						11,454,212	
	成長量	針	30,640.2	3.9	30,644.1		29,687.4	104,336.5	134,023.9		164,668.0						164,668.0	
		広	5,238.4		5,238.4		8,724.0	31,416.0	40,140.0		45,378.4						45,378.4	
	面積	針	35,878.6	3.9	35,882.5		38,411.4	135,752.5	174,163.9		210,046.4						210,046.4	
		広	99.86		99.86		175.71	1,495.78	1,671.49		1,771.35						1,771.35	
	材積	針	99.86		99.86		182.17	904.83	1,087.00		1,087.00						1,087.00	
		広	99.86		99.86		357.88	2,400.61	2,758.49		2,858.35			1,384.58		1,384.58	4,242.93	
東川町	面積	針	8,954		8,954		20,652	320,977	341,629		350,583						350,583	
		広	4,230		4,230		22,526	161,096	183,622		187,852						187,852	
	材積	針	13,184		13,184		43,178	482,073	525,251		538,435						538,435	
		広	469.8		469.8		374.1	3,860.9	4,235.0		4,704.8						4,704.8	
	成長量	針	72.0		72.0		316.9	1,270.6	1,587.5		1,659.5						1,659.5	
		広	541.8		541.8		691.0	5,131.5	5,822.5		6,364.3						6,364.3	

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみの林分の面積については、本表の集計には含まれていない。
 2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

森林計画区:006 上川南部

市町村	区分	立木地										無立木地等					計									
		人工林					天然林					伐採跡地	未立木地	改植予定地	林地以外の土地											
		育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然生林	計	竹林	計																
美瑛町	面積	針	3,799.39		3,799.39		1,260.79	8,912.24	10,173.03																	
		広	13.76		13.76		1,493.62	5,998.61	7,492.23																	
	材積	針	426,807		426,807		200,051	1,883,150	2,083,201																	
		広	144,918		144,918		211,170	1,122,086	1,333,256																	
	成長量	針	571,725		571,725		411,221	3,005,236	3,416,457																	
		広	13,729.0		13,729.0		4,548.8	22,656.1	27,204.9																	
上富良野町	面積	針	2,462.5		2,462.5		3,330.0	9,869.6	13,199.6																	
		広	16,191.5		16,191.5		7,878.8	32,525.7	40,404.5																	
	材積	針	574.50	16.00	590.50		48.70	999.77	1,048.47																	
		広	574.50	16.00	590.50		81.86	705.48	787.34																	
	成長量	針	68,360	2,925	71,285		7,487	220,290	227,777																	
		広	14,189	22	14,211		10,583	123,618	134,201																	
南富良野町	面積	針	82,549	2,947	85,496		18,070	343,908	361,978																	
		広	1,517.3	11.8	1,529.1		165.5	2,840.1	3,005.6																	
	材積	針	241.8	0.4	242.2		163.3	1,150.5	1,313.8																	
		広	1,759.1	12.2	1,771.3		328.8	3,990.6	4,319.4																	
	成長量	針	10,137.22	107.58	10,244.80		4,423.19	10,836.43	15,259.62																	
		広	18.16		18.16		3,137.79	15,589.72	18,727.51																	
占冠村	面積	針	10,155.38	107.58	10,262.96		7,560.98	26,426.15	33,987.13																	
		広	916.487	7,724	924,211		582,534	1,806,566	2,389,100																	
	材積	針	207,923	68	207,991		396,995	2,210,732	2,607,727																	
		広	1,124,410	7,792	1,132,202		979,529	4,017,298	4,996,827																	
	成長量	針	27,337.0	29.9	27,366.9		12,991.5	24,780.6	37,772.1																	
		広	3,532.4	1.2	3,533.6		5,881.4	19,129.7	25,011.1																	
計	面積	針	30,869.4	31.1	30,900.5		18,872.9	43,910.3	62,783.2																	
		広	12,188.94		12,188.94		3,689.36	11,913.87	15,603.23																	
	材積	針	37.07		37.07		4,508.66	14,689.53	19,198.19																	
		広	12,226.01		12,226.01		8,198.02	26,603.40	34,801.42																	
	成長量	針	1,223,938	1	1,223,938		510,130	1,968,380	2,478,510																	
		広	350,049		350,049		602,848	2,257,580	2,860,428																	
計	面積	針	1,573,987		1,573,987		1,112,978	4,225,960	5,338,938																	
		広	46,013.9		46,013.9		11,353.9	29,781.4	41,135.3																	
	材積	針	5,970.2		5,970.2		8,956.2	24,798.9	33,755.1																	
		広	51,984.1		51,984.1		20,310.1	54,580.3	74,890.4																	
	成長量	針	581.80		581.80		581.80		581.80																	
		広	47,609.23		47,609.23		3,702.448		3,702.448																	

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみの林分の面積については、本表の集計には含まれていない。
2.竹林の集計については、総計欄には含まれていない。

森林計画区:006 上川南部

市町村	区分	立木地										無立木地等					計				
		人工林					天然林					竹林	計	伐採跡地	未立木地	改植 予定地		林地以外 の土地	計		
		育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然生林	計													
森林計画計	面積	針 53,884.91	134.63	54,019.54		18,798.80	67,817.81	86,616.61			140,636.15										
	面積	広 327.84		327.84		22,461.29	78,163.84	100,625.13			100,952.97										
	計	54,212.75	134.63	54,347.38		41,260.09	145,981.65	187,241.74			241,589.12										
材積	針	4,712,080	12,818	4,724,898		2,711,096	12,574,253	15,285,349			20,010,247										
	広	1,548,613	206	1,548,819		2,659,665	11,633,240	14,292,905			15,841,724										
	計	6,260,693	13,024	6,273,717		5,370,761	24,207,493	29,578,254			35,851,971										
成長量	針	156,117.6	68.5	156,186.1		65,869.9	201,035.6	266,905.5			423,091.6										
	広	26,272.7	3.6	26,276.3		41,021.8	116,912.5	157,934.3			184,210.6										
	計	182,390.3	72.1	182,462.4		106,891.7	317,948.1	424,839.8			607,302.2										

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみの林分の面積については、本表の集計には含まれていない。
2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

区分	市町村						
	上川町	東川町	美瑛町	上富良野町	南富良野町	占冠村	
水源かん養保安林	79,954.99	4,173.08	32,000.03	4,152.31	42,238.08		39,829.72
土砂流出防備保安林	1,477.92		4.88				895.83
土砂崩壊防備保安林	49.88						
飛砂防備保安林							
防風保安林							
水害防備保安林							
潮害防備保安林							
干害防備保安林							
防雪保安林							
防霧保安林							
なたれ防止保安林							
落石防止保安林							
防火保安林							
魚つき保安林							
航行目標保安林							
保健保安林	(4,498.79)	38.37	(2,021.98)	(1,382.90)	(705.03)		417.39
風致保安林	(4,498.79)	38.37	(2,021.98)	(1,382.90)	(705.03)		417.39
計	81,485.31	4,211.45	32,137.24	4,155.79	42,238.08		41,142.94
保安施設地区							
砂防指定地	(39.11)	12.63	(264.01)	(168.62)	0.50		(34.45)
特別保護地区	(7,923.59)	(1,274.85)	(10,045.22)	(1,059.63)	(1,012.11)		
第一種特別地域	(8,200.26)	(727.79)	(4,290.02)	(1,175.55)	(1,424.96)		
第二種特別地域	(4,770.55)	7.55	(11.77)	(229.49)	20.29		
第三種特別地域	(30,231.81)	10.04	(2,250.19)	(531.97)	(1,423.14)		
地種区分未定地域							
計	(51,126.21)	7.55	(16,597.20)	(2,996.64)	(3,860.21)		
特別保護地区							
第一種特別地域							
第二種特別地域							
第三種特別地域							
地種区分未定地域							
計							
都							
第一種特別地域					(2,037.61)		
第二種特別地域					(6,416.88)		
第三種特別地域							
地種区分未定地域							
計					(8,454.49)		
原生自然環境保全地域							
自然環境保全地域特別地区							
都道府県自然環境保全地域特別地区							
鳥獣保護区特別保護地区	(172.42)		(38.75)		40.00		(41.57)
緑地保全地区							
風致地区							
特別母樹林	(4.45)						
史跡名勝天然記念物	(7,261.30)	(1,274.85)	(10,045.19)	(1,059.82)	(1,357.90)		
種の保存法による管理地区							
その他							
合計	(63,102.28)	81,563.70	32,210.10	(5,607.98)	4,177.79	(14,377.63)	41,142.94

区分	市町村									
	合計									
水源かん養保安林	248,439.46									
土砂流出防護保安林	8,386.90									
土砂崩壊防護保安林	103.78									
飛砂防護保安林										
防風保安林										
水害防護保安林										
潮害防護保安林										
干害防護保安林										
防雪保安林										
防霧保安林										
なだれ防止保安林										
落石防止保安林										
防火保安林										
魚つき保安林										
航行目録保安林										
保健保安林	823.97									
風致保安林	(226.57)									
計	(10,853.91)	257,817.76								
保安施設地区										
砂防指定地	(708.34)	72.18								
特別保護地区	(22,613.28)	0.32								
国 第一種特別地域	(16,853.36)	20.41								
立 第二種特別地域	(6,103.79)	124.55								
公 第三種特別地域	(34,712.85)	10.04								
園 地種区分未定地域										
計	(80,283.28)	155.32								
特別保護地区										
国 第一種特別地域										
定 第二種特別地域										
公 第三種特別地域										
園 地種区分未定地域										
計										
都 第一種特別地域	(2,728.54)									
道 第二種特別地域	(8,482.50)	0.15								
自 第三種特別地域	(2,509.45)	0.08								
然 地種区分未定地域										
公 計	(13,720.49)	0.23								
園 立										
原生自然環境保全地域										
自然環境保全地域特別地区										
都道府県自然環境保全地域特別地区										
鳥獣保護区特別保護地区	(327.82)	40.00								
緑地保全地区										
風致地区										
特別母樹林	(4.45)									
史跡名勝天然記念物	(21,566.01)									
種の保存法による管理地区										
その他										
合計	(127,444.30)	258,085.49								

(5) 樹種別材積表

単位:m³

		人工林	天然林	無立木地	その他	計
針葉樹	カラマツ	424,859	11,566			436,425
	トドマツ	3,833,501	6,797,931			10,631,432
	エゾマツ	373,386	8,436,566			8,809,952
	他針葉樹	93,152	39,286			132,438
	小計	4,724,898	15,285,349	0	0	20,010,247
広葉樹	ナラ類	452	1,078,899			1,079,351
	カンバ類	1,517,505	5,894,788			7,412,293
	カエデ類	5	3,001			3,006
	シナノキ	707	1,941,491			1,942,198
	タモ類	9,595	24,784			34,379
	他広葉樹	20,555	5,349,942			5,370,497
	小計	1,548,819	14,292,905	0	0	15,841,724
合計		6,273,717	29,578,254	0	0	35,851,971

(6) 荒廃地等の面積

単位:ha

市町村名	荒廃地
旭川市	2.56
富良野市	1.97
鷹栖町	0.77
比布町	0.08
愛別町	14.81
上川町	109.58
東川町	19.39
美瑛町	8.63
上富良野町	1.07
南富良野町	15.21
占冠村	15.52
計	189.59

(7) 森林の被害

単位:ha

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
総数	-	209	0

注) 北海道森林管理局事業統計書による。

3 林業の動向

(1) 森林組合及び生産森林組合の現況

ア 構成

振興局	組合名	市町村 (地区)	組合員数 (人)	専従役員数 (人)	払込済 出資金 (千円)	組合員所有 森林面積 (ha)	
総 数			4,296	64	430,299	52,696	
上川総合振興局	旭川市森林組合	旭川市	1,052	8	87,308	7,845	
	鷹栖町森林組合	鷹栖町	193	3	8,489	2,510	
	東神楽町森林組合	東神楽町	177		1,003	1,140	
	当麻町森林組合	当麻町	255	11	51,643	6,982	
	比布町森林組合	比布町	245	2	8,314	2,049	
	愛別町森林組合	愛別町	497	2	5,503	4,048	
	上川町森林組合	上川町	170	4	12,560	3,404	
	東川町森林組合	東川町	216	2	25,789	2,840	
	美瑛町森林組合	美瑛町	524	16	91,733	6,666	
	富良野地区森林組合	富良野市	富良野市 上富良野町 中富良野町 占冠村	768	9	85,957	10,331
		上富良野町					
中富良野町							
占冠村							
南富良野町森林組合	南富良野町	199	7	52,000	4,881		

注) 森林組合現況調査一覧(平成24年度)による。

イ 事業内容及び活動状況等

組合名	販売部門			購買部門		利用部門	
	販売 m ³	林産 m ³	加工 m ³	購買苗木 (千本)	養苗苗木 (千本)	新植 (ha)	保育 (ha)
総 数	45,462	20,540	22,034	103	0	54	1,014
旭川市森林組合	14,347	10,601	0	60		32	569
鷹栖町森林組合	4,826	1,739	1,957	20		9	176
東神楽町森林組合	1,407		0	10		6	33
当麻町森林組合	24,882	8,200	20,077	13		7	236
比布町森林組合	3,181	1,005	0	21		16	89
愛別町森林組合	2,588		0	4		2	62
上川町森林組合	3,456	10,854	0	6		3	203
東川町森林組合	6,210		0	16		11	243
美瑛町森林組合	19,722	12,293	33,188	91	122	115	761
富良野地区森林組合	110,734		0	159		101	908
南富良野町森林組合	8,879	6,473	1,134	21		35	366

注) 森林組合現況調査一覧(平成24年度)による。

(2) 林業事業体等の現況

単位:事業体

市町村	造林業	素材 生産業	木材・木製品製造業						
			製材	チップ	合単板	フローリング	集成材	プレカット	計
総数	35	(27) 33	26	(26) 32	3	1	4	4	(26) 70
旭川市	11	(10) 10	12	(12) 13			3	2	(12) 30
富良野市	2	(2) 2	3	(3) 6	1				(3) 10
鷹栖町	1	1							0
東神楽町									0
当麻町	1	1	2	(2) 2					(2) 4
比布町	1								0
愛別町	1	1			1				1
上川町	1	1							0
東川町	3	(1) 1	3	(3) 3	1		1	2	(3) 10
美瑛町	7	(7) 8	4	(4) 5					(4) 9
上富良野町		(3) 3	1	(1) 2		1			(1) 4
中富良野町			1	(1) 1					(1) 2
南富良野町	5	(4) 5							0
占冠村	2								0

注1) 北海道水産林務部(平成24年度実績)調べによる。
 注2) 素材生産業上段の()は、森林組合を除いた事業体数の内数。
 注3) チップ上段の()は、製材工場との兼業で内数。

(3) 林業労働力の概況

単位:人

	総就労者	林業 就労者
S50年	214,664	2,521
S55年	229,263	2,344
S60年	229,009	2,070
H 2年	230,418	1,472
H 7年	236,047	1,038
H12年	229,183	789
H17年	203,480	573
H22年	203,690	588

注) 平成22年度国勢調査報告による。

(4) 林業機械化の概況

単位 台数:台

機 械 種 名		台数	説 明
索 道	重 量 式		素材の自重を利用して移送するもの
	動 力 式		動力を持って移動するもの
集 材 機	小 型	5	10PS未満のもの
	大 型	2	10PS以上のもの
モノケーブル			ジグザグ集材施設
リモコンウインチ		3	遠隔操作による小型可搬式木寄せ機
自走式搬器			架線上を走行し素材の巻き上げ及び移送を行う搬器
モノレール			跨座式及び懸垂式
小 型 運 材 車		1	20PS未満のもの
		16	20PS以上のもの
ホイールタイプトラクタ		12	素材等を牽引して集材等の作業に用いる(車輪式のもの)
クローラタイプトラクタ		52	ホイールトラクタと同じ作業に用いる(履带式のもの)
育 林 用 ト ラ ク タ		3	主として地拵え等の育林作業に用いる
フ ォ ー ク リ フ ト		2	素材を所定の高さへ積み込み、巻立等の作業を行う
フ ォ ー ク ロ ー ダ		5	土場等で素材の積み込み、巻立等の作業を行う
ク レ ーン	運材機能なし	2	素材等の吊り上げ、積み込み、巻立等の作業のみを行うもの (トラッククレーン、ホイールクレーン、クローラクレーン)
	運材機能あり	6	クレーン作業と木材運搬を行うもの (クレーン付きトラック)
グ ラ ッ プ ル	運材機能なし	68	クレーンの先端部に材をつかむグラップルを装備 (グラップルローダ作業車)
	運材機能あり	2	グラップルローダによる作業と木材の運搬を行うもの (グラップルローダ付きトラック)
ト ラ ク タ シ ョ ベ ル		15	木材の搬出、育林作業等に係る土木用のもの
シ ョ ベ ル 系 掘 削 機 械		40	木材の搬出、育林作業等に係る土木用のもの (バックホウ、パワーショベル等)
チ ェ ー ソ ー		217	伐倒、枝払い、造材作業、育林作業等に用いる
チェーンソーリモコン装置付		3	リモコンチェーンソー架台
刈 払 機		173	地拵え、下刈等に用いるもの(携帯式のもの)
植 穴 掘 機		2	苗木を林地に植栽するのに用いるもの
動 力 枝 打 機	自動木登り式	1	自動木登り式のもの
	背負い式等	1	背負い式等の上記以外のもの
苗 畑 用 ト ラ ク タ		12	苗畑において、耕うん、整地等に用いる
フ ェ ラ ー バ ン チ ャ		7	立木を伐倒、集積する自走式機械
ス キ ッ ダ			牽引式集材専用のトラクタ
プ ロ セ ッ タ		10	枝払い、玉切りする自走式機械
ハ ー ベ ス タ		37	伐倒、枝払い、玉切りする自走式機械
フ ォ ワ ー ダ		10	積載式集材専用車両
タ ワ ー ヤ ー ダ			元柱を具備した自走式集材機械
グ ラ ッ プ ル ソ ー		10	巻立、玉切りする自走式機械
樹 木 粉 砕 機		3	伐倒木、伐根、枝条等を粉砕する機械

注) 北海道水産林務部林業木材課調べ(平成25年3月31日現在)による。

4 前期計画の実行状況

(1) 間伐立木材積その他の伐採立木材積

単位 材積：千m³

区分	伐採立木材積								
	計画			実行			実行歩合		
	主伐	間伐	総数	主伐	間伐	総数	主伐	間伐	総数
総数	0	232	232	61	280	341	-	121%	147%
針葉樹	0	189	189	37	190	226	-	101%	120%
広葉樹	0	43	43	25	90	115	-	210%	267%

注1) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分(H21～H25年度)である。

2) 総数は四捨五入のため必ずしも一致しない。

(2) 間伐面積

単位 面積:ha

計画	実行	実行歩合
18,785	11,045	59%

注) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分(H21～H25年度)である。

(3) 人工造林・天然更新別面積

単位 面積:ha

総数			人工造林			天然更新		
計画	実行	実行歩合	計画	実行	実行歩合	計画	実行	実行歩合
7	1,537	21,957%	0	63	-%	7	1,475	21,071%

注1) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分(H21～H25年度)である。

2) 総数は四捨五入のため必ずしも一致しない。

(4) 林道の開設及び拡張の数量

単位 延長:km

区分	開設延長			拡張箇所数		
	計画	実行	実行歩合	計画	実行	実行歩合
基幹路網	91	43	47%	53	42	79%
うち林業専用道	-	12	-	-	-	-

注) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分(H21～H25年度)である。

(5) 保安林の整備及び治山事業に関する計画

ア 保安林の種類別の面積

単位 面積：ha

種 類	指 定			解 除		
	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合
総 数	-	-	-	-	123	-
水 源 かん 養	-	-	-	-	114	-
土 砂 流出 防 備	805	0	0%	-	-	-
保 健	-	-	-	-	9	-

注) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分(H21～H25年度)である。

イ 保安施設地区の面積

該当なし

ウ 治山事業の数量

主な工種	計 画	実 行	実行歩合
溪 間 工 (箇所)	38	33	87%
山 腹 工 (箇所)	6	7	117%
植 栽 工 (ha)	59	65	110%
本数調整伐 (ha)	238	1,311	551%

注) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分(H21～H25年度)である。

5 林地の異動状況(森林計画対象森林)

(1) 森林より森林以外への異動

単位 面積:ha

農 用 地	ゴルフ場等 レジャー施設 用 地	住宅、別荘、 工場等建物 敷地及び その附帯地	採石採土地	そ の 他	合 計
				100	100

注1) その他の内訳は、河川用地・工事用地・防災用地・国道・道道への所管換えまたは売り払いである。

2) 異動面積は、前計画の前期分(H21～H25年度)である。

(2) 森林以外より森林への異動

該当なし

6 森林資源の推移

(1) 分期別伐採立木材積等

単位 面積:ha、材積:千m³

分 期		I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	
伐採立木材積	総 数	総 数	407	445	443	443	422	438	446	422
		針葉樹	310	326	325	324	309	324	332	315
		広葉樹	97	118	118	118	112	114	113	107
	主 伐	総 数	109	90	94	99	110	119	127	131
		針葉樹	86	70	73	77	85	92	98	101
		広葉樹	24	20	21	22	25	27	29	31
	間 伐	総 数	298	354	348	343	312	318	318	290
		針葉樹	225	256	252	247	225	232	234	214
		広葉樹	74	98	97	96	87	87	84	76
造林面積	総 数	496	226	252	301	461	610	741	714	
	人工造林	169	67	84	82	82	81	89	81	
	天然更新	327	159	167	219	379	529	652	633	

注) 計は四捨五入のため必ずしも一致しない。

(2) 分期別期首資源表

單位 面積:ha、材積:千m³

區	分	總數	面積											材積
			面											
			1・2 齡級	3・4 齡級	5・6 齡級	7・8 齡級	9・10 齡級	11・12 齡級	13・14 齡級	15・16 齡級	17・18 齡級	19・20 齡級	21齡級 以上	
第 I 分期	總數	241,602	33	160	5,506	16,382	23,930	21,788	6,436	3,854	5,757	7,532	150,223	35,851
	人工林	54,360	25	65	5,258	14,809	19,806	12,019	838	650	835	54	1	6,272
	天然林	187,242	8	95	248	1,573	4,125	9,769	5,598	3,205	4,922	7,478	150,222	29,578
第 II 分期	總數	41,260	5	95	209	1,543	3,372	4,663	2,697	1,520	2,780	5,820	18,556	5,371
	人工林	145,981	3	39	39	753	5,105	2,901	1,685	2,142	1,658	131,666	24,207	
	天然林													

區	分	總數	面積											材積
			面											
			1・2 齡級	3・4 齡級	5・6 齡級	7・8 齡級	9・10 齡級	11・12 齡級	13・14 齡級	15・16 齡級	17・18 齡級	19・20 齡級	21齡級 以上	
第 II 分期	總數	241,602	117	105	819	12,293	20,672	26,146	12,539	4,332	4,969	7,657	151,953	37,335
	人工林	53,825	109	10	818	11,549	17,603	18,655	3,677	328	1,004	72	1	6,893
	天然林	187,777	8	95	1	745	3,070	7,491	8,861	4,004	3,965	7,585	151,952	30,442
第 III 分期	總數	41,798	5	95	1	706	2,800	3,935	4,445	2,023	2,232	6,006	19,551	5,672
	人工林	145,979	3	39	39	270	3,556	4,416	1,981	1,733	1,579	132,401	24,770	
	天然林													

區	分	總數	面積											材積
			面											
			1・2 齡級	3・4 齡級	5・6 齡級	7・8 齡級	9・10 齡級	11・12 齡級	13・14 齡級	15・16 齡級	17・18 齡級	19・20 齡級	21齡級 以上	
第 III 分期	總數	241,602	160	33	160	5,506	16,393	23,927	21,786	6,504	3,910	5,639	157,585	38,849
	人工林	53,399	160	25	65	5,258	14,730	19,406	11,694	794	547	700	20	7,432
	天然林	188,203	0	8	95	248	1,662	4,521	10,092	5,710	3,363	4,939	157,565	31,417
第 III 分期	總數	42,871		5	95	211	1,634	3,806	5,242	2,954	1,749	2,798	24,377	6,123
	人工林	145,331		3	37	28	715	4,850	2,756	1,613	2,141	133,188	25,294	
	天然林													

單位 面積:ha、材積:千m³

區	分	面積											材積
		面											
		1・2 齡級	3・4 齡級	5・6 齡級	7・8 齡級	9・10 齡級	11・12 齡級	13・14 齡級	15・16 齡級	17・18 齡級	19・20 齡級	21齡級 以上	
第IV分期	總數	241,602	117	105	819	12,291	20,685	26,058	12,499	4,452	5,083	159,342	40,273
	人工林	52,902	109	10	818	11,476	17,252	18,185	3,556	306	967	71	7,879
	天然林	188,700	8	95	1	815	3,433	7,873	8,943	4,146	4,116	159,271	32,394
第IV分期	總數	43,923	5	95	1	780	3,190	4,663	4,957	2,290	2,385	25,559	6,588
	人工林	144,777	3	3		35	243	3,210	3,985	1,856	1,731	133,713	25,806
	天然林												

區	分	面積											材積
		面											
		1・2 齡級	3・4 齡級	5・6 齡級	7・8 齡級	9・10 齡級	11・12 齡級	13・14 齡級	15・16 齡級	17・18 齡級	19・20 齡級	21齡級 以上	
第V分期	總數	241,602	160	33	160	5,506	16,445	23,914	21,630	6,607	4,035	162,945	41,581
	人工林	52,314	160	25	65	5,213	14,435	18,977	11,302	745	528	697	8,244
	天然林	189,288	0	8	95	293	2,010	4,937	10,327	5,863	3,506	162,248	33,338
第V分期	總數	45,020		5	95	259	1,985	4,292	5,950	3,351	1,893	27,190	7,048
	人工林	144,268		3		33	25	645	4,377	2,512	1,613	135,058	26,289
	天然林												

區	分	面積											材積
		面											
		1・2 齡級	3・4 齡級	5・6 齡級	7・8 齡級	9・10 齡級	11・12 齡級	13・14 齡級	15・16 齡級	17・18 齡級	19・20 齡級	21齡級 以上	
第VI分期	總數	241,602	164	117	105	819	12,450	20,792	25,800	12,479	4,578	164,147	42,764
	人工林	51,568	164	109	10	811	11,245	16,883	17,563	3,330	294	1,010	8,558
	天然林	190,034	0	8	95	9	1,205	3,909	8,238	9,150	4,284	163,137	34,206
第VI分期	總數	46,157		5	95	9	1,173	3,690	5,341	5,452	2,429	27,964	7,425
	人工林	143,877		3			32	220	2,897	3,698	1,855	135,173	26,781
	天然林												

単位 面積:ha、材積:千m³

区	分	面積											材積
		面											
		1・2 齡級	3・4 齡級	5・6 齡級	7・8 齡級	9・10 齡級	11・12 齡級	13・14 齡級	15・16 齡級	17・18 齡級	19・20 齡級	21齡級 以上	
第VII分期	總數	241,602	166	160	33	160	5,688	16,833	23,701	21,276	6,726	166,695	43,915
	人工林	50,666	166	160	25	160	5,109	14,113	18,374	10,588	714	1,189	8,781
	天然林	190,935	0	0	8	96	579	2,720	5,327	10,688	6,012	165,506	35,134
第VIII分期	總數	47,353			5	96	549	2,697	4,745	6,654	3,501	29,108	7,871
	人工林	143,583			3	30	23	582	4,034	2,511	136,398	27,262	
	天然生林												

区	分	面積											材積
		面											
		1・2 齡級	3・4 齡級	5・6 齡級	7・8 齡級	9・10 齡級	11・12 齡級	13・14 齡級	15・16 齡級	17・18 齡級	19・20 齡級	21齡級 以上	
第VIII分期	總數	241,602	170	151	117	105	1,003	13,074	20,630	25,204	12,545	168,440	44,945
	人工林	49,653	170	151	109	10	794	10,978	16,331	16,482	3,197	1,267	8,948
	天然林	191,949	0	0	8	95	208	2,096	4,299	8,722	9,348	167,173	35,997
第IX分期	總數	48,538			5	95	208	2,067	4,100	5,990	5,653	30,419	8,250
	人工林	143,412			3	3	29	198	2,732	3,696	136,754	27,747	
	天然生林												

区	分	面積											材積
		面											
		1・2 齡級	3・4 齡級	5・6 齡級	7・8 齡級	9・10 齡級	11・12 齡級	13・14 齡級	15・16 齡級	17・18 齡級	19・20 齡級	21齡級 以上	
第IX分期	總數	241,602	171	166	160	33	302	6,367	16,800	23,098	21,210	173,131	45,982
	人工林	48,671	171	166	160	25	64	4,977	13,646	17,268	10,179	1,853	9,105
	天然林	192,931	0	0	0	8	239	1,390	3,154	5,830	11,032	171,278	36,877
第X分期	總數	49,672				5	239	1,363	3,134	5,286	6,999	32,646	8,652
	人工林	143,260				3	27	21	544	4,033	138,632	28,224	
	天然生林												